

郡 山 女 子 大 学
郡山女子大学短期大学部

令 和 元 年 度

研 究 業 績 及 び 社 会 活 動

平成31年4月 ～ 令和2年3月

研究紀要編集委員会

【研究業績】（著書・論文・発表）

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
【郡山女子大学】					
山 形 敏 明	（学術論文） 1. 福島県における雪害対策に関する基礎的研究－人身雪害発生時の気象状況について－	共著	2019年 9 月	雪 氷 研 究 大 会 （2019・山形）講演 予稿集p74、日本雪氷 学会、日本雪工学会	福島県における落雪による人身雪害発生時の気象背景の特性について明らかにした。
	（その他） 1. 地方創生（まち・ひと・しごと創生）に関するアンケート報告書	共著	2019年11月	令和元年度小野町地域創生総合戦略、小野町	令和元年度小野町地域創生総合戦略における事業として実施した町民アンケートについて集計・分析し報告書として提出した。
	2. 県産木材を利用した天井野縁ユニット施工方法の開発成果報告書	共著	2020年 2 月	木材製品需要拡大事業	実証実験に基づいた天井野縁ユニットの施工方法について検証し、施工マニュアルを作成した。
安 田 純 子	（学術論文） 1. 「家庭生活の多様化とライフステージの経済計画に関する一考察」	共著	2020年 （掲載予定）	『東北経済学会誌』 東北経済学会	家庭生活の多様化の現状に目を向けつつ、老後を中心とする経済計画に関してその問題の所在と構造を明らかにした。
	2. 「郡山女子大学におけるキャリア教育の試み－キャリアデザインⅠの事例から－」	共著	2020年 3 月	『郡山女子大学紀要』 第56集	「キャリアデザインⅠ」の3年計画3度目の授業内容と独自テキストの改編に際し、現在の課題と今後の在り方を考えた。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(その他) (口頭発表) 1. 「家庭生活の多様化とライフ ステージの経済計画に関する一考 察」	共同	2019年 8 月31日	第73回東北経済学会 (於：山形大学)	家庭生活の多様化の現状に目を向けつ つ、老後を中心とする経済計画に関す る問題の所在と構造について発表した。
	2. 「アボリジニの生活変遷から みる人間生活に関する一考察」	単独	2019年 9 月 7 日	日本家政学会東北・ 北海道支部第63回研 究発表会	アボリジニの生活変遷に付随した食生 活や環境等の影響例を鑑み、よりよい 生活や生活の質の向上への示唆を発表 した。
熊 田 伸 子	1. センテナリアン（百寿者）の 姿から「人生100年時代」の生き 方を学ぶ	単著	2020年 1 月	ザ・ウィークリー 特別企画新年号 別冊	人生100年と言われる現在、長寿社会を 生きていくために、各年代でどのよう な心構えや準備が必要かを投稿した。
難 波 めぐみ	(口頭発表) 1. 関東地域の学生の寝衣に関す る実態調査：睡眠感の検討」	共同	2019年 5 月25、 26日	(一社) 日本家政学 会 第70回 大会 (於： 徳島大学)	寝衣の種類よいも、寝具、寝衣の肌触 り、寝衣で玄関や屋外に出る行動が、 睡眠感に関連している可能性が示唆さ れた。 須田理恵、前田亜紀子、西山加奈、水 野一枝、水野康、久慈るみ子、井上美 紀、難波めぐみ
関 川 悦 雄	(著書) 1. 介護等体験ハンドブック	共編	令和 2 年 2 月 1 日	大修館	本書は教師を目指す学生皆さんに向け ての介護等体験に関する改訂書である。 内容としては、介護等体験の意義、介 護等体験の事前準備、介護等体験の目 的・概要、特別支援学校や社会福祉施 設での具体的な体験内容などで編集さ れている。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(その他) 1. 研究報告書・初任者教員をめ ぐる実態と課題	研究共同代 表	令和2年 2月28日	(株) オーディービー センター	若い教員が学校現場で着任後まもなく して離職するケースが続出している。 本報告書は、この事態を重く見て、何 が原因でどんな背景・事情などがあっ て辞職するのかを、離職本人や校長・ 指導主事等の管理職経験者から、イン タビューや聞き取り調査して、その成果 をまとめたものである。
山 本 裕 詞	(学術論文) 1. 児童生徒の法的地位論から見 えるSSWerの活動可能性	単著	2019年7月	日本学校ソーシャル ワーク学会東北部会 『東北の学校ソー シャルワーク(第8 号)』 2-7頁。	スクールソーシャルワーカーの活動は、 児童生徒の法的地位論が基盤とする 「学校」に対する社会通念変容の呼び 水となる可能性があり、その論理的帰 結として、校長権限との関係における 各専門職の相対的自立が期待できるこ とを論証した。
	2. 「学校法」へのスクールロイ ヤー導入の意義と可能性	単著	2020年3月	郡山女子大学紀要 第56集	現在検討されている全国的な規模での スクールロイヤー導入の意義と可能性 とを、いわゆる「学校法」の整備期と 考えられる現状との関係において明ら かにした。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(その他) 1. 学校における児童生徒の法的 地位を踏まえてSSWerはどう関わ るか	単独	2019年 7 月	日本学校ソーシャル ワーク学会第14回大 会シンポジウム「学 校ソーシャルワーク の基礎を問う」にお ける基調講演	スクールソーシャルワーカーが、学校 教育法施行規則に位置付いた意義につ いて、児童生徒の法的地位論を踏まえ て明らかにした。
石 原 正 道	(学術論文) 1. Chiral phase transition within the linear sigma model in the Tsallis nonextensive statistics based on density operator	単著	2019年 4 月	International Journal of Modern Physics E 28, 1950020	ツァリスの非加法的統計力学において、 自由粒子近似の下で、カイラル相転移 をO(1-q)の範囲で調べた。
	2. Derivation of density operators for generalized entropies with quantum analysis	単著	In Press	Physica A	最大エントロピー原理を一般化エント ロピーに適用し、量子解析を用いて対 応する密度演算子を導出した。
堀 琴 美	(学術論文) 1. 発達障害とトラウマ反応の判 別の一例 – 青年期を迎えた被虐 待児の心理査定から –	単著	2020年 3 月	郡山女子大学紀要 第56集	トラウマ反応（愛着障害）と発達障害 は非常によく似た症状群を呈するが、 投影法検査を用いた人格特徴や病態水 準の照合により判別可能なケースを紹 介した。
	2. 郡山女子大学におけるキャリ ア教育の試み – キャリアデザイン I の事例から –	共著	2020年 3 月	郡山女子大学紀要 第56集	本学におけるキャリア教育の導入と歴 史、検討委員会の変遷、基本的教育方 針、教育内容、独自教科書の作成と改 編、今後の課題などについて論じた。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	3. 郡山女子大学のキャリア教育 の試み	単著	2020年3月	第69回 東北・北海道 地区大学等高等・共 通教育研究会 研究集 録、pp76-79	本学におけるキャリアデザインⅠの位 置づけとカリキュラム、オリジナル・ テキストの内容と特徴、今後の課題な どについて論じた。
	(その他) (口頭発表) 1. 郡山女子大学のキャリア教育 の試み	単著	2019年8月	第69回 東北・北海道 地区大学等高等・共 通教育研究会 (弘前)	第3分科会「キャリア教育の新しい課 題」部門の話題提供として、本学の キャリアデザインⅠについて発表した。
阿 部 恵利子	(学術論文) 1. 福島県の公共建築物における 木材利用に関する調査研究－木材 利用の動向と今後の展望－	単著	2020年3月	郡山女子大学研究紀 要第56集	福島県における公共建築物の木造・木 質化の推移と施設利用者（管理者）の 意識や問題点について考察した。
	(その他) 1. 地方創生(まち・ひと・しご と創生)に関するアンケート報告 書	共著	2019年11月	令和元年度小野町地 域創生総合戦略、小 野町	令和元年度小野町地域創生総合戦略に おける事業として実施した町民アン ケートについて集計・分析し報告書と して提出した。
	2. 県産木材を利用した天井野縁 ユニット施工方法の開発成果報告 書	共著	2020年2月	木材製品需要拡大事 業	実証実験に基づいた天井野縁ユニット の施工方法について検証し、施工マ ニュアルを作成した。
	3. 木の文化を育む① 木の文化の継承と木育	単著	2019年4月	林業福島No.656	大学教育における木育の試みと産・ 学・官・民連携による木材利用推進の 取り組みについて解説した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	4. 木の文化を育む② 森を活かした教育活動（子どもと 青年の異世代交流事業）	単著	2019年 5 月	林業福島No.657	子どもと青年の異世代交流事業として、 森を活かした教育活動の企画・運営事 例について報告した。
	5. 木の文化を育む③ 「自然学校キッツ森のようちえ ん」	単著	2019年 6 月	林業福島No.658	「自然学校キッツ森のようちえん」の 山や農業などの自然体験を重視した保 育・幼児教育について報告した。
	6. 木の文化を育む④ 大工仕事と木の魅力を伝える	単著	2019年 7 月	林業福島No.659	木の家の良さや大工仕事の魅力を伝え る福島県建築大工業協会の様々な取り 組みについて解説した。
	7. 木の文化を育む⑤ 人と繋がり文化を継承するモノづ くり	単著	2019年 8 月	林業福島No.660	「木桶」文化の復活と地域経済を活性 化させるまちづくりについて解説した。
	8. 木の文化を育む⑥ 雑木林を開拓し、福島の楽園に！	単著	2019年 9 月	林業福島No.661	次世代へつなぐ森の再生を福島県田村 郡三春町から始めようとする取り組み について報告した。
	9. 木の文化を育む⑦ ママのためのクラフト部mam's craft	単著	2019年10月	林業福島No.662	住宅や家具の端材を活用した木工クラ フトを暮らしに活かす取り組みについ て解説した。
	10. 木の文化を育む⑧ 福島県森林自己学習支援事業	単著	2019年11月	林業福島No.663	森林自己学習支援事業における大学生 の取り組みについて報告した。
	11. 木の文化を育む⑨ 五感で楽しむ木工ワーク	単著	2019年12月	林業福島No.664	福島県産材を活用した木材加工ワーク ショップの取り組みについて報告した。
	12. 木の文化を育む⑩ 県産木材を利用した天井野縁ユ ニットの開発	単著	2020年 1 月	林業福島No.665	木材製品需要拡大技術導入事業におけ る木製品の開発について解説した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	13. 木の文化を育む⑪ 子育て中の「あったらいいな」を 実現	単著	2020年2月	林業福島No.666	木のおもちゃ広場空間や木の香りが漂うウッドカフェ等の地域コミュニティについて解説した。
	14. 木の文化を育む⑫ 福島県森林自己学習支援事業成果 報告会	単著	2020年3月	林業福島No.667	森林自己学習支援事業を活用した、福島県内の大学生の活動事例と成果について報告した。
廣 野 正 子	(研究レポート) 1. 「学生の介護実習報告からSOC (Sense of Coherence) 視点での 検討	単著	2020年3月	郡山女子大学紀要 第56集	介護実習の体験とSOC（ストレス対処能力）との関連について、学生の介護実習報告書からSOCの下位概念に該当する実習体験を分析した。
長 田 城 治	(学術論文) 1. 宮島ホテル（税務講習所広島 支所）の接収と取り扱いについて （査読あり） (口頭発表) 1. 名古屋市における占領軍家族 住宅の施設の種類とその配置	共著	2020年2月	日本建築学会技術報告集	宮島ホテルの接収について、一次資料から検討し、接収過程とその様相を日本と占領軍の両面から考察した。
	2. 大正・昭和戦前期の開墾地移 住家屋に関する研究その9－開墾 地移住奨励制度における共同建造 物の奨励制度と地域傾向	共著	2019年6月	日本建築学会北海道 支部研究報告集	名古屋市内の占領軍家族住宅（デベントハウス）について、当時の行政資料等を用いて施設の種類や配置計画の特徴を検討した。
		共著	2019年9月	日本建築学会大会学 術講演梗概集（建築 歴史・意匠）	開墾地移住奨励制度における共同建造物の奨励制度の概要を整理し、事例の統計的な分析により、地域傾向や年代傾向を考察した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	3. 大正・昭和戦前期の開墾地移住家屋に関する研究その10－開墾地移住奨励制度における共同建造物の特徴と集落計画	共著	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集（建築歴史・意匠）	開墾地移住奨励制度における共同建造物の種類や用途を分析し、集落計画の実態について実地調査から明らかにした。
	4. 大正・昭和戦前期の開墾地移住家屋に関する研究その11－東北地方における開墾地移住奨励制度の運用実態	共著	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集（建築歴史・意匠）	東北地方における開墾地移住奨励の運用と移住家屋の改善実態を明らかにした。
	5. 大正・昭和戦前期の開墾地移住家屋に関する研究その12－兵庫県における開墾地移住奨励制度の運用実態と農林省施策の関係 (報告書)	共著	2019年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集（建築歴史・意匠）	兵庫県の小束野耕地整理組合と西光寺野耕地整理組合における開墾地移住奨励制度の申請・交付実態を検討し、農林省の施策の変化と比較考察を行った。
	1. 高島熱中小学校7期のあゆみ	共著	2019年4月	NPOはじまりの学校	高島熱中小学校7期の記念誌に寄稿した。
	2. 佐藤家住宅主屋・土蔵2棟調査報告書	単著	2020年3月	福島市飯坂町	福島市飯坂地区の佐藤家主屋と土蔵2棟に関する所見をまとめた。調査の結果、主屋は明治中期頃、文庫蔵が安政年間の建築であることが判明した。
	3. 令和元年度ヘリテージマネージャー育成講習会報告書	共著	2020年3月	福島県歴史的建造物保全活用促進協議会	「所見の書き方ほか」の講義を担当し、建造物の国登録有形文化財に関する所見の書き方例に、建物の価値の求め方と示し方について講演した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	4. 杉本家住宅主屋（旧多胡藩陣屋）調査報告書	単著	2020年3月	富岡町	旧多胡藩陣屋を移築転用した杉本家住宅主屋が解体されるため、各種図面製作と復元考察を実施し、建物の価値についてまとめた。
	5. 旧三春藩太鼓堂調査報告書	単著	2020年3月	三春町	三春藩で利用された太鼓堂の建物実測調査を行い、所見を執筆した。
	6. 旧吉田家主屋および紫雲閣調査報告書	単著	2020年3月	三春町	旧吉田家主屋と紫雲閣の国登録有形文化財申請のための調査を実施し、所見を執筆した。
	(デザイン制作) 1. 石工フェスin石蔵に関する広報用フライヤー制作	単著	2019年9月	国見町企画情報課歴史まちづくり推進室	国見町と郡山女子大学人間生活学科建築デザインコースが主催したイベント広報用のフライヤー（6,500部）およびポスターデザインの制作を行った。
	(模型製作) 1. 国見町石蔵模型	単著	2019年9月	国見町企画情報課歴史まちづくり推進室	「国見町の石蔵2号棟」を制作し、寄贈した。
鉾 野 信 子	(その他) 1. お酒の楽しみ方 食品表示編 その③ 栄養表示における「強調表示」と、生鮮食品の表示	単著	2019年4月	酒販の友 No.703 p.12-13	食品表示の栄養表示における「強調表示」と生鮮食品（農産物、畜産物、水産物、玄米・精米）の表示について解説した。
	2. お酒の楽しみ方 食品表示編 その④ 遺伝子組換え食品の表示	単著	2019年5月	酒販の友 No.704 p.10-11	食品表示の遺伝子組換え表示の対象となる農産物及びその加工食品と、その表示方法について解説した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	3. お酒の楽しみ方 食品表示編 その⑤機能性の表示 その1・ 「特定保健用食品」と「機能性表 示食品」	単著	2019年 6 月	酒販の友 No.705 p.10-11	国が制度を定め機能性の表示を許可し ている「特定保健用食品」と「機能性 表示食品」の違いおよび表示内容を解 説した。
	4. お酒の楽しみ方 食品表示編 その⑥その2・「栄養機能食品」	単著	2019年 7 月	酒販の友 No.706 p.8-9	国が制度を定め機能性の表示を許可し ている「栄養機能食品」の栄養成分お よび表示内容について解説した。
	5. お酒の楽しみ方「食品」とは 何か編①食品の機能 その1	単著	2019年 8 月	酒販の友 No.707 p.8-9	食品の一次機能「栄養機能」、二次機能 「嗜好性」、三次機能「生態を調節する 機能」について解説した。
	6. お酒の楽しみ方「食品」とは 何か編②食品の機能 その2	単著	2019年 9 月	酒販の友 No.708 p.8-9	食品の安全性について「安全」と「安 心」の違いおよび「食の安全」を脅か す問題について解説した。
	7. お酒の楽しみ方「食品」とは 何か編③うま味とは何か	単著	2019年10月	酒販の友 No.709 p.10-11	味の要素の一つである「うま味」は昆 布、鰹節、干し椎茸から発見されたこ と、「うま味」とは何かを解説した。
	8. お酒の楽しみ方「食品」とは 何か編④食べ物のおいしさ	単著	2019年11月	酒販の友 No.710 p.8-9	味の受容と伝達経路、食べ物のおいし さを決定する要因、おいしい・まずい の判断について解説した。
	9. お酒の楽しみ方「食品」とは 何か編⑤味覚の発達と食嗜好の形 成	単著	2019年12月	酒販の友 No.711 p.10-11	胎児、新生児、乳児期、幼児期、小児 期、思春期において、味覚はどのよう に発達し食嗜好が形成されるかを解説 した。
	10. お酒の楽しみ方「食品」とは 何か編⑥音楽と味覚	単著	2020年 1 月	酒販の友 No.712 p.12-13	音楽の種類が食品の味覚に及ぼす影響 および好みの音楽が心理に及ぼす影響 について、実験結果から解説した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	11. お酒の楽しみ方 「日本の食文化の歴史」編 ①縄文時代	単著	2020年2月	酒販の友 No.713 p.12-13	集落を形成し、採集と狩猟・漁撈を中心に、食べ物を分かち合い生活していた縄文時代の食文化について解説した。
	12. お酒の楽しみ方 「日本の食文化の歴史」編 ②弥生・古墳・飛鳥時代	単著	2020年3月	酒販の友 No.714 p.12-13	稲作が加速し貧富の差が如実になった弥生・古墳・飛鳥時代および魏志倭人伝に記された食べ物について解説した。
菊 池 節 子	(その他) 「学会発表」 1. 伝統的な郷土料理の食文化及び調理科学的視点からの研究～Na/K比からの考察～ (口頭発表)	共同研究	2019年9月	日本家政学会東北・北海道支部第63回研究発表会(郡山市民プラザ)	福島県会津地方の「こづゆ」、青森県津軽地方の「じゃっぱ汁」について、調理科学的視点から比較した結果、いずれも具沢山の汁物で理想的なNa/K比であることを報告した。 佐々木瞳、熊谷湖乃巴、熊谷沙久耶、辻匡子、郡司尚子、菊池節子
	2. 汁物におけるNa/K比から評価した減塩の試み (口頭発表)	共同研究	2019年12月	日本食生活学会 創立30周年記念大会・第59回大会(大妻女子大学 東京都)	日常家庭で食されている一般的なみそ汁、研究室調製みそ汁、市販即席みそ汁、福島県会津地方の郷土料理「こづゆ」の他、市販カップ麺を試食しNa/K比を分析し、食塩摂取に関して量のみではなく質的側面からの検討を加えた。 菊池節子、熊谷沙久耶、熊谷湖乃巴、佐々木瞳、藤本健四郎

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	「報告書」 1. 郡山市震災後子どものケアプロジェクト 郡山市子どもの心と体の育ち見守り事業 運動や食事についてのアンケート調査報告書 (2019年)	共著	2020年2月	認定NPO法人 郡山 ベップ子育てネット ワーク	本報告書は2019年度実施の郡山市の子どもたちの生活習慣等に関するアンケート調査結果をまとめたものである。本人担当部分：食習慣、食事の様子 pp.5、32-56 菊池信太郎、中村和彦、菊池節子、長野康平、高橋千春、村山枝里
	2. 「無意識の減塩」環境づくり推進事業実施報告書	共著	2020年3月	福島県保健福祉部 健康づくり推進課	本学が福島県から委託を受けた、ふくしま“食の基本”推進事業「無意識の減塩」環境づくり検証業務にて実施した内容を報告書として提出した。
	3. 古殿町特産物“ミニトマト”の6次化実施報告書	単著	2020年3月	古殿町	本学と古殿町との包括連携協定に基づき携わった、町の特産物である“ミニトマト”の6次化商品開発に関する結果を報告書として提出した。
大 西 弘太郎	(その他) 1. 外来試食教室における生活習慣の改善とその有効性評価の試み	共著	2019年6月29日	第28回日本健康教育 学会学術大会(東京)	クリニックほりかわの外来試食教室参加者と不参加者との間で生活習慣の改善や臨床検査成績の変化などを検討し、外来での栄養指導の有効性を評価し、今後の指導に役立てることを試みた。
岡 部 聡 子	(その他) 1. 精神疾患を抱える対象者向けの栄養指導ツール作成の試み	共著	2019年9月7日	日本家政学会東北・ 北海道支部 第63回研究発表会	栄養士会発行の既存のリーフレットを分析し、良いリーフレットの特徴を示した。結果に基づき、精神科における栄養指導用のリーフレット作成を手掛けた。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 精神科における心理的摂食尺度の妥当性について	共著	2019年11月2日	2019年度 第31回 福島県栄養士会研究 発表会	一般人を対象として開発された既存の心理的摂食尺度が、精神科の患者に適用できるかを検証した。
亀 田 明 美	(口頭発表) 小学生の食生活とQOLの関連性 －質問紙調査からの検討－	共著	2019年9月	日本栄養改善学会 第66回学術総会 富山県民会館	小学生を対象に食習慣とQOLの関連について検討した。
	(示説発表) 中学生一人ひとりの給食からのエネルギー摂取量の割合－推定エネルギー必要量を基準として－	共著	2019年11月	第15回日本給食経営 管理学会学術総会 名古屋文理大学文化 フォーラム	中学生一人ひとりが学校給食から摂取するエネルギー量を検討した。
影 山 志 保	(その他) (口頭発表) 1. 福島県内における野生きのこの放射性セシウム濃度の動向 (2018)	共 同	2019年5月24日 ～26日	日本菌学会第63回大会講演要旨集(県立秋田大学) p.47	福島県内の野生きのこの放射性セシウム濃度について、種類、採取場所、空間放射線率と子実体の放射性セシウム濃度の関係や同一きのこの年次変化、近縁種による違いなどを報告した。
	2. 福島県産山菜の放射性セシウム濃度について	共 同	2019年9月7日	日本家政学会東北・北海道支部会第63回大会発表要旨集p.3 (郡山市市民プラザ)	福島県産山菜の野生きのこの放射性セシウム濃度について、種類、採取場所、空間放射線率の関係について報告した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(ポスター発表) 1. 福島県中通りを流れる河川の 放射線量	共 同	2018年 5 月24～ 26日	日本家政学会 第71回 大会研究発表要旨集 (四国大学) p.77	福島県中通りを流れる河川の放射線量 について、震災直後と震災から8年経過 した現在の放射線量を計測した。放射 線量は全体的に低下していることを報 告した。
佐 藤 浩 明	(その他) 1. バレーボール指導DVD「う まい人は誰でも実践しているアイ ワークディフェンス」 2. 全日本バレーボール高等学校 選手権大会 (春高) 福島県代表決定戦 (優勝)		平成31年 9 月 2 日 令和 2 年 3 月12日 令和 2 年 3 月13日	ジャパンライム株式 会社	バレーボールでは重要であるにも関わ らず指導が難しいアイワークをテーマ に、実際にプレーする選手がどこを見 てプレーしているのかを指導を紹介す る。 トータル・ディフェンスを駆使し数多 くの編集動画作成しチームミーティン グ等で活用した。
黒 澤 廣 子	(その他) 1. 研究会発表 2. 学会発表	共同 共同	令和元年 12月 7 日 令和 2 年 1 月26日	第31回 福島県栄養士 会研究発表会 第23回 日本病態栄養 学会	「福島県の介護保険施設・病院におけ る嚥下食に関する実態調査と今後の課 題」 「外来糖尿病患者の体重コントロール に関する意識調査」

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
高 橋 徹	(学術論文) 1. Effect of ingesting yogurt fermented with <i>Lactobacillus delbrueckii</i> ssp. <i>bulgaricus</i> OLL1073R-1 on influenza virus-bound salivary IgA in elderly residents of nursing homes	共著	平成31年 5 月	Acta Odontol Scand 16 : 1-8. doi : 10.1080/00016357.2019.1609697	R-1ヨーグルトのインフルエンザウイルスに感作する唾液IgA分泌速度が、他のヨーグルトよりも高いことを示した。
	2. Conditions for the appearance and Disappearance of dislikes of food in Japanese students	共著	平成31年 9 月	Journal of Food and Nutrition 5 : 1-8	好き嫌いの発生と消失の条件をアソシエーションルールで解析した。好き嫌いが消失するのは、中学生以降に嫌いだった食べ物の美味しさを理解した時であった。
	(その他) 1. Umami perception of the brain in Japanese natural soup stock (招待講演)	共著	平成31年 11月18日	23 th WCCN in Makhachkala, Russia	天然だしのうま味が既存のうまみ 関連物質で説明するのが難しいこと、揮発性成分が脳の中でうま味惹起する機序を示した。
郡 司 尚 子	(学会発表) 1. エゴマアイスの嗜好調査について	共同	2019年 9 月 7 日	日本家政学会東北・北海道支部第63回研究発表会（郡山市民プラザ）	エゴマの利用法についてアイスクリームへの活用を検討し、3種の考案したエゴマアイスクリームの嗜好調査を実施した際の結果について報告した。（郡司尚子・本間杏葉）

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 伝統的な郷土料理の食文化及び調理科学的視点からの研究～Na/K比からの考察～	共同	2019年 9 月	日本家政学会東北・北海道支部第63回研究発表会（郡山市民プラザ）	福島県会津地方の「こづゆ」、青森県津軽地方の「じゃっぱ汁」について、調理科学的視点から比較した結果、いずれも具沢山の汁物で理想的なNa/K比であることを報告した。 （佐々木瞳・熊谷湖乃巴・熊谷沙久耶・辻匡子・郡司尚子・菊池節子）
長谷川 貴 弘	（学術論文） 1. 「郡山女子大学におけるキャリア教育の試み－キャリアデザインⅠの事例から－」	共著	2020年 3 月	郡山女子大学紀要第56集	郡山女子大学におけるキャリア教育の現在の課題と今後の本学のキャリア教育のあり方について考察した。
	2. わが国の社会保障費の現状と財政健全化への課題について	単著	2020年 3 月	郡山女子大学紀要第56集	わが国の社会保障費の現状をサーベイすると共に財政健全化の視点を中心にその課題について考察した。
	3. 「家庭生活の多様化とライフステージの経済計画に関する一考察」	共著	2020年 （掲載予定）	東北経済学会誌	家庭生活の多様化の現状に目を向け、老後を中心とする経済計画に関しその問題の所在と構造について考察した。
	（その他） 1. 学会発表 「家庭生活の多様化とライフステージの経済計画に関する一考察」	共同発表	2019年 8 月31日	第73回東北経済学会 （於：山形大学）	家庭生活の多様化の現状に目を向け、老後を中心とする経済計画に関しその問題の所在と構造について報告した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
星 千 歳	(その他) 「学会発表」 1. 社員食堂利用者の食事選択傾向と疾病との関係について	共同研究	2019年12月	第31回 福島県栄養士会研究発表会 (郡山市労働福祉会館 郡山市)	社員食堂利用者にアンケートを行い、食事選択傾向と疾病の関係について検討し、食べ方・食行動・健康意識の中の3項目について関係性があることを報告した。 星千歳、伊藤央奈、高橋麻実、田中美咲、西間木穂乃花
	2. 男性勤労者の社員食堂利用におけるヘルシーメニューの満足度と健康意識の関連	共同研究	2020年3月	第90回 日本衛生学会 学術集会	男性勤労者の社員食堂利用者に対してヘルシーメニューの満足度と健康意識に関連する因子を探った。 伊藤央奈、星千歳、遠藤梓、高橋寿実
伊 藤 央 奈	(その他) 「学会発表」 1. 社員食堂利用者の食事選択傾向と疾病との関係について	共同研究	2019年12月	第31回 福島県栄養士会研究発表会 (郡山市労働福祉会館 郡山市)	社員食堂利用者にアンケートを行い、食事選択傾向と疾病の関係について検討し、食べ方・食行動・健康意識の中の3項目について関係性があることを報告した。 星千歳、伊藤央奈、高橋麻実、田中美咲、西間木穂乃花
	(口頭発表) 2. 男性勤労者の社員食堂利用におけるヘルシーメニューの満足度と健康意識の関連	共著	2020年3月	第90回 日本衛生学会 学術集会	男性勤労者の社員食堂利用者に対してヘルシーメニューの満足度と健康意識に関連する因子を探った。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
柳 沼 和 子	(著書)				
	1.『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「米のお やつともち」	共著	令和元年 6月1日	(一社) 日本調理科 学会発行 (一社) 農村漁村文 化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実 施した聞き書き調査をもとに、次世代 に伝え継ぎたい家庭料理として時代背 景を交えたレシピ集として紹介する。
	2.『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「漬物・ 佃煮・なめ味噌」	共著	令和元年 9月1日	(一社) 日本調理科 学会発行 (一社) 農村漁村文 化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実 施した聞き書き調査をもとに、次世代 に伝え継ぎたい家庭料理として時代背 景を交えたレシピ集として紹介する。
	3.『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「汁も の」	共著	令和元年 12月1日	(一社) 日本調理科 学会発行 (一社) 農村漁村文 化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実 施した聞き書き調査をもとに、次世代 に伝え継ぎたい家庭料理として時代背 景を交えたレシピ集として紹介する。
	4.『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「そば・ うどん・粉もの」	共著	令和2年 3月1日	(一社) 日本調理科 学会発行 (一社) 農村漁村文 化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実 施した聞き書き調査をもとに、次世代 に伝え継ぎたい家庭料理として時代背 景を交えたレシピ集として紹介する。
	(その他)				
	1. 福島県の家庭料理 副菜の特 徴 - 会津地方、中通り地方、浜 通り地方の副菜 -	共同	令和元年 8月26日～27日	一般社団法人日本調 理科学会 2019年度 大会(中村学園大学) 特別企画「次世代に 伝え継ぐ日本の家庭 料理」ポスター発表	前年に引き続き、今回は「副菜」を テーマとした特別企画展が開催され、 福島県の会津地方、中通り地方、浜通 り地方における「副菜」の特徴につい て報告した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
本 間 杏 菜	(その他) 「学会発表」 1. エゴマアイスの嗜好調査について 2. 精神科における心理的摂食尺度の妥当性について	共同 共同	2019年9月7日 2019年11月2日	日本家政学会東北・北海道支部第63回研究発表会（郡山市民プラザ） 2019年度 第31回 福島県栄養士会研究発表会	エゴマの利用法についてアイスクリームへの活用を検討し、3種の考案したエゴマアイスクリームの嗜好調査を実施した際の結果について報告した。（郡司尚子・本間杏菜） 一般人を対象として開発された既存の心理的摂食尺度が、精神科の患者に適用できるかを検証した。
根 本 絢 香	(その他) 1. 精神科における心理的摂食尺度の妥当性について	共著	2019年11月2日	2019年度 第31回 福島県栄養士会研究発表会	一般人を対象として開発された既存の心理的摂食尺度が、精神科の患者に適用できるかを検証した。
【郡山女子大学短期大学部】					
齋 藤 美保子	(その他) 研究ノート 1. 近代風景画に関する一考察－フォントネージから我が国の絵画教育へ－	単著	2019年12月	『美術史研究』第57冊 81～86頁 早稲田美術史学会	明治期のお雇い外国人フォントネージの教育が浅井忠およびその後の我が国の絵画教育に与えた影響を、明治期の図画教科書類と手描き絵葉書を史料として検証した。
會 田 久仁子	(著書) 1. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「米のおやつともち」	共著	令和元年 6月1日	(一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2.『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「漬物 佃煮 なめ味噌」	共著	令和元年 9月1日	(一社) 日本調理科 学会発行 (一社) 農村漁村文 化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実 施した聞き書き調査をもとに、次世代 に伝え継ぎたい家庭料理として時代背 景を交えたレシピ集として紹介する。
	3.『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「汁も の」	共著	令和元年 12月1日	(一社) 日本調理科 学会発行 (一社) 農村漁村文 化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実 施した聞き書き調査をもとに、次世代 に伝え継ぎたい家庭料理として時代背 景を交えたレシピ集として紹介する。
	4.『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「そば うどん 粉もの」	共著	令和2年 3月1日	(一社) 日本調理科 学会発行 (一社) 農村漁村文 化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実 施した聞き書き調査をもとに、次世代 に伝え継ぎたい家庭料理として時代背 景を交えたレシピ集として紹介する。
	(その他) 1. 福島県の家庭料理 副菜の特 徴 - 会津地方、中通り地方、浜 通り地方の副菜 -	共同	令和元年 8月26日・27日	一般社団法人日本調 理科学会 2019年度大 会(中村学園大学)特 別企画「次世代に伝 え継ぐ日本の家庭料 理」ポスター発表	前年に引き続き、今回は「副菜」を テーマとした特別企画展が開催され、 福島県の会津地方、中通り地方、浜通 り地方における「副菜」の特徴につい て報告した。
	2. 福島県民の食卓、家庭料理の 安全安心	単著	令和元年8月	財界ふくしま 2019年9月号	連載 県内大学リレーエッセイ寄稿「フ クシマの未来像」第48回を執筆した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
坂 上 茂	(学術論文) 1. オヤマボクチの栽培について	共著	2020年 3 月	郡山女子大学研究紀要 第56集	凍み餅に使用するオヤマボクチは、原 発事故後山林での採取が難しくなった。 そこで葛尾村内で畑地での栽培を試み た。 (金子依里香、武地誠一、坂上 茂)
	(その他) 1. 「オヤマボクチの葉を用いた 凍みもち」の主要栄養成分につい て (口頭発表)	共著	2019年 9 月	日本家政学会 東北・ 北海道支部 第63回 研 究発表会 (郡山市)	オヤマボクチの葉を用いた福島県葛尾 村産の凍みもちの主要栄養成分を分析 し、その結果を口頭で発表した。 (坂上 茂、金子依里香)
水 野 時 子	(著書) Nブックス 応用栄養学概論 〔第2版〕	共著	令和2年 3 月	(株)建帛社	栄養士養成学科で学ぶ学生のために、 第2版として各ライフステージの栄養、 運動・スポーツと栄養、特殊環境やス トレスと栄養について、分担で執筆し た。「第5章乳児期の栄養 (p32-42)」 を担当した。
小 林 澄 枝	(その他) 1. 「無意識の減塩」環境づくり 推進事業実施報告書	共著	令和2年 3 月	福島県健康づくり推 進課・郡山女子大 学・短期大学部	ふくしま“食の基本”推進事業の一環と して、段階的に減塩することで、無意 識のうちに減塩できる環境を整備する 目的で、社員食堂2社に、各6週間ず つ介入し、減塩効果についての分析・ 評価などを実施した。その結果から、 献立の定着化と減塩化に関するノウハ ウについて研究し報告書を作成した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
金 子 依里香	(学術論文) 1. オヤマボクチの栽培について	共著	2020年3月	郡山女子大学研究紀 要 第56集	凍み餅に使用するオヤマボクチは、原 発事故後山林での採取が難しくなった。 そこで葛尾村内で畑地での栽培を試み た。 金子依里香、武地誠一、坂上 茂
	(その他) 1. 「オヤマボクチの葉を用いた 凍みもち」の主要栄養成分につい て (口頭発表)	共著	2019年9月	日本家政学会 東北・ 北海道支部 第63回 研 究発表会 (郡山市)	オヤマボクチの葉を用いた福島県葛尾 村産の凍みもちの主要栄養成分を分析 し、その結果を口頭で発表した。 坂上 茂、金子依里香
鈴 木 奈津子	(学術論文) 1. 消毒剤の違いによる生野菜の 嗜好性に関する一考察	単著	令和2年3月	郡山女子大学紀要 第56集	厚生労働省より食品添加物として新し く認可された過酢酸製剤で消毒した生 野菜の嗜好性について、消毒剤として 施設等で使用されている次亜塩素酸ナ トリウムと比較して検討した。
加 藤 雅 子	(著書) 1. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「米のお やつともち」	共著	令和元年 6月1日	(一社) 日本調理科 学会発行 (一社) 農村漁村文 化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実 施した聞き書き調査をもとに、次世代 に伝え継ぎたい家庭料理として時代背 景を交えたレシピ集として紹介する。
	2. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「漬物・ 佃煮・なめ味噌」	共著	令和元年 9月1日	(一社) 日本調理科 学会発行 (一社) 農村漁村文 化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実 施した聞き書き調査をもとに、次世代 に伝え継ぎたい家庭料理として時代背 景を交えたレシピ集として紹介する。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	3.『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「汁もの」	共著	令和元年 12月1日	(一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。
	4.『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「そば・うどん・粉もの」	共著	令和2年 3月1日	(一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。
	(その他) 1. 福島県の家庭料理 副菜の特徴 －会津地方、中通り地方、浜通り地方の副菜－	共同	令和元年 8月26日～27日	一般社団法人日本調理科学会 2019年度大会(中村学園大学) 特別企画「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」ポスター発表	前年に引き続き、今回は「副菜」をテーマとした特別企画展が開催され、福島県の会津地方、中通り地方、浜通り地方における「副菜」の特徴について報告した。
三 瓶 令 子	(学術論文) 1. 東日本大震災後の幼児の発達に関する保育者の意識調査－福島県内の保育者を対象とした質問紙調査から－	共著	2020年3月	郡山女子大学紀要 第56集	本稿は、福島県内の保育者が、現在の幼児の発達に対してどのような認識を持っているのか、質問紙調査から明らかにした。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
富士盛 公 年	(学術論文) 1. 「郡山女子大学におけるキャリア教育の試み－キャリアデザインⅠの事例から－」	共	2020年3月	郡山女子大学研究紀要第56集	本学では、大学・短大の共通基礎科目として「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」が開講されている。本学のキャリア教育は、大学で学ぶ専門知識を社会で活かすための基礎力として「つくる力」(創造力、理論的思考力、表現力)と「かかわる力」(主体的行動力、コミュニケーション能力、倫理・道徳観)の育成を目指しており、特に入門となる「キャリアデザインⅠ」は3年計画で授業内容の改善に取り組み、独自テキストの制作と見直しを重ねている。本論は、今年度の「キャリアデザインⅠ」の3度目の授業内容とテキストの改編に際し、現在の課題と今後の本学のキャリア教育のあり方を考えたものである。
一 柳 智 子	(著書) 1. 映像で学ぶ舞踊学	共著	2020. 2 (予定)	大修館書店	舞踊学という立ち位置における、人類学、社会学、教育学、工学等の様々な領域を横断し多方面からアプローチし舞踊学の学びを網羅した教科書。文字情報と映像情報とをリンクさせた学びのテキストである。第1章第3節「民俗芸能の保護－文化財保護法および無形文化遺産保護法の理念から災害研究へ」第2章第3節「舞踊は社会を映す鏡－ネワール人の舞踊劇「ガン・ピャカン」」を担当執筆。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(学術論文) 1. 葛尾村三匹獅子舞の舞踊構造 と伝承内容	単著	2020. 3 (予定)	比較舞踊研究 比較舞踊学会	葛尾村三匹獅子舞の調査研究内容を研究資料としてまとめた。(査読あり) 2018年から調査を開始した葛尾村の三匹獅子舞に関して、これまで先行研究となるべき調査研究報告がなかった。震災後に復興した三匹獅子舞の現状を舞踊構造と伝統的な伝承内容を調査し報告した。
	(その他) 1. 評論	単著	2020. 3	arts / 民族藝術学会	「鄙に咲く夢の芸能舞台―南山御蔵入領の人々」 南会津町大桃地区にある国の重要有形文化財(1976年指定)である芸能舞台では毎年夏に伝統芸能と民俗芸能の公演が行われている。2019年に行われた舞台の評論である。
小 林 徹	(著書) 1. デザインする保育内容指導法 「言葉」	共著	2019年 7 月	教育情報出版 B5型181頁 (分担) pp152-155	編著者：田中謙 著 者：小林徹ほか22名。 保育士養成課程における領域「言葉」のテキスト。第11章第2節「ダイバーシティ・インクルージョン社会における子どもの発達と「ことば」」を担当した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 新・はじめて学ぶ社会福祉6 障害児の保育・福祉と特別支援教育	共著	2019年9月30日	ミネルヴァ書房 A5型304頁 (分担) pp132-143	監 修：杉本敏夫 編著者：立花直樹、中村明美、 松井剛太、井上和久 著 者：小林徹ほか21名。 障害児の保育・福祉と教育を切れ目なく一体的に学ぶことのできるテキスト。 第10章「障害児や特別な配慮を要する児童への支援に関する現状と課題」を担当した。
	3. ライフステージを見通した障害児保育と特別支援教育	共著	2020年3月20日	みらい B5型254頁 (分担) プロローグ pp14-15 第4章第10節 pp140-142 第5章第3節 pp160-162 第9章（共同） pp230-245	編著：小林徹、栗山宣夫 執筆者：小林徹ほか32名。 『ライフステージを見通した障害児の保育・教育』（2016年刊行）の改訂新版。保育士養成課程における「障害児保育」と教職課程の「特別支援教育」に対応している。「ライフステージを見通した」という書名には、乳幼児期だけでなく生涯発達を見渡しながら子どもと関わることで、子どもの最善の利益を考えて支援したいという願いを込めた。実践の様子がわかるコラム「現場からの声」を多数掲載した。筆者は栗山宣夫とともに全体の編集を担当した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(学術論文) 1. 幼保連携型認定こども園における乳児保育部担当保育士の意識－困難さと支援のあり方を中心に－	共著	2020年3月	郡山女子大学紀要 第56集	著者：小林徹、今村幸子、仲西真美子 幼保連携型認定子ども園に移行し5年目を迎えた園において、これまで乳児保育を担当した保育者を対象に半構造化面接を行い、グラウンデッド・セオリー法による分析を行った。これにより、乳児保育担当保育士の困りと支援の在り方について検討した。
	(その他) (学会発表) 1. 現場で求められる障害児支援の実践力	共同	2019年9月	日本特殊教育学会 第57回大会 (広島大学)	(企画) 榎木暢子・小林徹(司会) 橋本陽介(話題提供) 早川透・小林徹・今村幸子(指定討論) 奥住秀之 本シンポジウムでは、学生を受け入れる現場側の視点から、職員に必要とされる専門性をどのように職場内で伝授していくかを検討した。筆者は企画と話題提供を担当した。
	2. 早期支援を目指した保幼小連携の在り方	共同	2019年10月	日本特別ニーズ教育学会 第25回研究大会 (長崎大学)	(企画) 小林徹・斎藤遼太郎(司会) 榎木暢子(話題提供) 斎藤遼太郎・今村幸子・田中亮(指定討論) 奥住秀之 障害児に対し早期から一貫した支援を継続的に行うために保幼小連携の重要性が指摘されている。本ラウンドテーブルではさらに多くの視点(研究者、認定子ども園、小学校)からの報告に基づき、早期支援を目指した保幼小連携の現状と課題を検討した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
早 川 仁	(その他)				
	1. 福島県総合美術展	単著	会期 6月14日(金) ～6月23日(日)	福島県県文化センター	委嘱出品 出品作品 ・「令和を往く」 F-50号キャンバス・油彩
	2. 郡山開成学園 美術展	単著	会期 8月7日(水) ～8月13日(火)	郡山うすい百貨店	出品作品 ・「働き方改革3月」 F-4号 キャンバス・油彩 ・「働き方改革4月」 F-10号 キャンバス・油彩 ・「働き方改革5月」 F-4号 キャンバス・油彩 ・「働き方改革6月」 F-6号 キャンバス・油彩
	3. 福島県県南美術展	単著	会期 9月12日(木) ～9月16日(月)	郡山市文化センター	出品作品 ・「虹の根」 F-50号キャンバス・油彩 *会員奨励賞受賞
	4. 現代童画展	単著	会期 11月10日(日) ～11月16日(土)	東京都美術館	出品作品 ・「夏の終わりの海は」 変型100—号パネル 油彩・アクリル *現代動画会会員推挙
草 野 葉 子	(その他)				
	<作品発表>				
	1. 第69回モダンアート展	単	2019年4月	東京都美術館	作品：「SAKURA・2019」 植物をモチーフとした構成シリーズⅣ。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. モダンアート東北・北海道展	単	2019年 7 月	東邦みんなの 文化センター	作品：「SAKURA・2019」 植物をモチーフとした構成シリーズⅣ。
	3. 第7回ふくしま在住作家展	単	2019年 7 月	アートスペース 羅針盤	作品：「バベルの樹・Ⅰ」 「バベルの樹・Ⅱ」 植物と建築物をモチーフとした構成。
	4. 郡山開成学園美術展	単	2019年 8 月	うすい百貨店 ギャラリー	作品「SAKURA・Ⅱ・2019」 「バベルの樹・Ⅲ」 植物をモチーフとした構成シリーズⅣ と植物と建築物をモチーフとした構成。
折 笠 国 康	(学術論文) 1. 中学生の本来感と優越感および学校適応感との関連の検討：本来感と随伴性自尊感情の組み合わせの視点から	共著	2019年 9 月	発達心理学研究、 30、132-141 日本発達心理学会	本研究は、中学生の自尊感情を本来感と随伴性自尊感情との組み合わせでとらえ、この2要因の組み合わせによって適応に関連する変数への影響が異なることを示すことを目的とした。具体的には自尊感情を本来感と優越感の高低の組み合わせで4類型に分類し、同程度の自尊感情であっても本来感と優越感の程度によりいい子傾向、社会的スキル、学校適応感の程度には差が見られ、さらに類型と学年によっても違いが生じるであろうという仮説を立てた。その結果、学校適応感に対しては優越感より本来感が有意な影響を及ぼしていた。さらに、自尊感情のうち、本来感と優越感のどちらも高い群が社会的スキルが高く、学校適応感も4群の中で最も高いことが確認され、中学生の自尊感情を考慮する際には、両者の組み合わせでとらえることの重要性が示唆された。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
永 瀬 悦 子	(学術論文)				
	1. 保育者を目指す学生の養護体験と養護技術との関係～新生児養護体験と困難に感じる沐浴技術内容に着目して～	単著	2020年3月	日本保育者養成教育学会誌『保育者養成教育研究』第4号	保育者を目指す学生の養護体験と養護技術に着目し、新生児養護体験と困難に感じる沐浴技術内容との関係を明らかにした。
	2. 保育者を目指す学生の救急蘇生法の習得に関する研究～過去の学習方法と学習後の時間に着目して～	単著	2019年7月	日本保育保健協議会機関誌『保育と保健』第25第25号 pp29-33.	過去の救急蘇生法の学習方法と救急蘇生法の習得内容、最後に学習した時間から現在までの時間が救急蘇生法習得にどのような影響を与えているのかについて明らかにした。
	3. 「産婆さん」という愛称で慕われている開業助産師の活動展開過程～開業助産師の関わりに着目して～	単著	2020年3月	『郡山女子大学紀要』第56集	福島県において、助産をはじめとした地域母子保健活動を、約50年にわたり展開してきた開業助産師の母子に対する関わりを明らかにした。
伊 藤 哲 章	(著書)				
	1. 子どもの姿からはじめる領域「環境」	共著	令和2年3月	監修者 秋田喜代美、みらい	幼稚園教諭志望者向けのテキストとして、新幼稚園教育要領の領域環境に関する内容を取り上げ解説した。
	(学術論文)				
	1. 「保幼小接続に関する研修・交流の実態及び保育者の意識」	共著	令和2年3月	『郡山女子大学紀要』第56集	本研究では、保幼小接続に関する保育者の研修会の参加状況および保育者の考え方を明らかとすることを目的とし、幼稚園、保育所（園）、こども園に勤務している保育者を対象に保幼小接続に関する質問紙調査を実施した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2.「東日本大震災後の幼児の発達に関する保育者の意識調査－福島県内の保育者を対象とした質問紙調査から－」 (学会発表)	共著	令和2年3月	『郡山女子大学紀要』第56集	本研究では、福島県内の保育者が、現在の幼児の発達に対してどのような認識を持っているのか、質問紙調査から明らかにした。
	1.「大学生の小学校生活科の学習観に関する研究」	単独	令和1年7月	教育実践・経営学会研究会（白鷗大学）	大学生の小学校生活科の学習観についてアンケート調査をもとに発表した。
	2.「幼小接続期における生物分野の効果的な教授法に関する実践的研究」	単独	令和1年8月	日本科学教育学会（宇都宮大学）	幼児の生物学的思考における身体現象の理解に着目し、遺伝的特徴、身体的特徴及び心理的特徴に関する幼児の認識について発表した。
	3.「幼小接続期における生物分野の効果的な教授法に関する研究－保育者対象のアンケート調査より－」	単独	令和1年9月	日本理科教育学会（静岡大学）	幼小接続期における生物分野の効果的な教授法に関して、アンケート調査をもとに発表した。
	4.「自伝的記憶の想起に及ぼす匂いの影響」	共同	令和1年9月	日本味と匂学会（高知市）	自伝的記憶の想起に及ぼす匂いの影響について質問紙調査をもとに発表した。
	5.「領域「環境」における運動あそびの実践に関する研究－北欧の保育園の事例を参考にして－」	共同	令和1年10月	日本教材学会（東京学芸大学）	領域「環境」における運動あそびの実践に関して北欧の事例を参考に実践を行い発表した。
	6.「幼児の自然認識」	単独	令和1年10月	野外文化教育学会（新潟薬科大学）	幼児の自然認識について、インタビュー調査をもとに発表した。
	7.「保幼小接続に関する研修及び交流が保育者に与える効果」	単独	令和1年11月	日本理科教育学会東北支部（弘前大学）	保幼小接続に関する研修及び交流が保育者に与える効果について質問紙調査をもとに発表した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	8. 「幼児の生物概念に関する保育者の意識」	単独	令和1年12月	日本科学教育学会研究会（岩手大学）	幼児の生物概念に関する保育者の意識について質問紙調査をもとに発表した。
柴 田 卓	(学術論文)				
	1. 福島県における外遊びと自然保育の現状－保育者を対象とした質問紙調査から－	単著	2019年11月	自然保育学研究、第2集、38-44.	本稿は、東日本大震災から8年が経過した福島県の外遊びと自然保育の現状について、質問紙調査から明らかにした。
	2. デンマークにおける教育改革後の体育と身体活動に関する研究	単著	2020年3月	郡山女子大学紀要第56集	本稿は、2014年にデンマークで実施された教育改革後の体育と身体活動に関する現地調査の報告である。
	3. 東日本大震災後の幼児の発達に関する保育者の意識調査－福島県内の保育者を対象とした質問紙調査から－	共著	2020年3月	郡山女子大学紀要第56集	本稿は、福島県内の保育者が、現在の幼児の発達に対してどのような認識を持っているのか、質問紙調査から明らかにした。 柴田 卓、伊藤哲章、仲西真美子、三瓶令子
	4. 保幼小接続に関する研修・交流の実態及び保育者の意識	共著	2020年3月	郡山女子大学紀要第56集	本稿は、保幼小接続に関する保育者の研修会参加状況およびその考え方を質問紙調査から明らかにした。 伊藤哲章、沼田春香、宗像佑華、柴田 卓
	(学会発表)				
	1. デンマークの都市部における自然保育の実践に関する研究	単	2019年11月	日本自然保育学会第4回大会	2019年に実施したデンマークの保育園と幼児向けの自然プログラムを提供する団体への調査に関する報告を行った。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
猪 股 照 子	(その他) 1. 教育実習ガイドライン	単	2020年3月	幼児教育学科	幼児教育学科、教育実習（幼稚園）ガイドラインを作成した。 ・1年次・2年次における 教育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳすべての授業 の在り方・事務一式・学生指導につ いての記録である。
安 部 高太郎	(学術論文) 1. 「真正の評価」論が描く教師 像：判定する教師から伴走する教 師へ	単著	2020年3月	郡山女子大学紀要 第56集	本稿では、ウィギンズによって提唱さ れた、真正の評価論がいかなるものか を示し、その教師像を論じた。
	2. 神道系保育所・幼稚園等にお ける保育・教育理念の特色：全国 神社保育団体連合会の九州ブロッ クにおける加盟園を事例として	共著	2019年6月	敬心・研究ジャーナル 第3巻第1号、9-19頁。	著者：安部高太郎・吉田直哉・鈴木康弘 本稿では、九州地方にある全国神社保 育団体連合会の加盟園22園の保育・教 育理念を対象として、テキストマイニ ングソフトKHコーダーを用いた分析 を行った。
	3. カトリック系保育所・幼稚園 等における保育・教育理念の特 色：日本カトリック幼児教育連盟 の横浜教区（神奈川・山梨・長 野・静岡）に着目して	共著	2019年6月	敬心・研究ジャーナル 第3巻第1号、115- 123頁。	著者：鈴木康弘・吉田直哉・安部高太郎 本稿では、カトリック系の幼稚園・保 育所の保育・教育理念の特色を明らか にした。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	4. 「10の姿」に込められた能力 観の私製解説書による曲解：実践 例と能力の対応化による変質	共著	2019年12月	敬心・研究ジャーナル 第3巻第2号、19-29 頁。	著者：安部高太郎・吉田直哉・鈴木康弘 本稿では、「幼児期の終わりまでに育っ てほしい姿」（10の姿）が、私製解説書 において実践例と共に示されることで、 10個の能力として誤解されていること を指摘した。
仲 西 真美子	(学術論文) 1. 東日本大震災後の幼児の発達 に関する保育者の意識調査－福島 県内の保育者を対象とした質問紙 調査から－	共著	2020年3月	郡山女子大学紀要 第56集	本稿は、福島県内の保育者が、現在の 幼児の発達に対してどのような認識を 持っているのか、質問紙調査から明ら かにした。(柴田卓・伊藤哲章・仲西真 美子・三瓶令子)
	2. 幼保連携型認定こども園にお ける乳児保育部担当保育士の意識 －困難さと支援のあり方を中心に－	共著	2020年3月	郡山女子大学紀要 第56集	幼保連携型認定子ども園に移行し5年 目を迎えた園において、これまで乳児 保育を担当した保育者を対象に半構造 化面接を行い、グラウンデッド・セオ リー法による分析を行った。これによ り、乳児保育担当保育士の困りと支援 の在り方について検討した。(小林徹・ 今村幸子・仲西真美子)
沼 田 春 香	(学術論文) 1. 保幼小接続に関する研修・交 流の実態及び保育者の意識	共著	2020年3月	郡山女子大学紀要 第56集	本研究では、保幼小接続に関する保育 者の研修会の参加状況および保育者の 考え方を明らかとすることを目的とし、 幼稚園、保育所（園）、こども園に勤務 している保育者を対象に保幼小接続に 関する質問紙調査を実施した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
宗 像 佑 華	(学術論文) 1. 保幼小接続に関する研修・交 流の実態及び保育者の意識	共著	2020年 3 月	郡山女子大学紀要 第56集	本研究では、保幼小接続に関する保育 者の研修会の参加状況および保育者の 考え方を明らかとすることを目的とし、 幼稚園、保育所（園）、こども園に勤務 している保育者を対象に保幼小接続に 関する質問紙調査を実施した。
横 溝 聡 子	(学術論文) 1. 保育者養成校におけるピアノ 指導法－コードの学習を通した能 動的学修への試み－（査読付） (その他) 「演奏」 1. 富永睦子・横溝聡子ピアノ デュオリサイタル 2. 富永睦子・横溝聡子ピアノ デュオリサイタル	単著 共 共	2020年 3 月 2019年 10月26日 2019年 10月27日	郡山女子大学紀要 第56集 ヤマハ仙台サロン ／宮城県 郡山女子大学建学記 念講堂小ホール ／福島県	ピアノ指導でのコードによる伴奏付け の入門的指導において、能動的学修を 意識した授業実践の試みを行い検証し た。 2台ピアノリサイタル。アレンスキー の2台ピアノ作品全曲を演奏。 2台ピアノリサイタル。アレンスキー の2台ピアノ作品全曲を演奏。
深 谷 悠里絵	(学術論文) 1. 「保育表現技術 器楽Ⅱ」 実習での音楽活動から考える ピアノ演奏技術のあり方	単著	2020年 3 月	郡山女子大学紀要 第56集	「保育表現技術 器楽Ⅱ」の授業にお いて、実習に向けてどのような準備が できるのか、対策を考察するとともに、 幼稚園教育要領からピアノ伴奏やピ アノ表現技術の在り方について検討をお こなった。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(その他) 演奏				
	1. 郡山市小中学校合唱祭 中学校の部	共	2019年 8 月22日	けんしん郡山文化セ ンター／福島県	郡山市立郡山第五中学校合唱部のピア ノ伴奏 課題曲「君の隣にいたいから」 県大会出場
	2. 福島県小中学校合唱祭	共	2019年 8 月29日	いわき芸術文化交 流 館アリオス／福島県	郡山市立郡山第五中学校合唱部のピア ノ伴奏 課題曲「君の隣にいたいから」 東北大会出場
	3. 第86回NHK全国学校音楽コン クール 東北ブロックコンクール	共	2019年 9 月 7 日	名取市文化会館／ 宮城県	郡山市立郡山第五中学校合唱部のピア ノ伴奏 課題曲「君の隣にいたいから」 全国大会出場
	4. 第86回NHK全国学校音楽コン クール 全国コンクール	共	2019年10月14日	NHKホール／東京都	郡山市立郡山第五中学校合唱部のピア ノ伴奏 課題曲「君の隣にいたいから」 銅賞受賞
	(口頭発表)				
	1. 「導入期のピアノ教育～ロシ ア近代、ハンガリーを例として」	共	2019年10月27日	東京文化会館 中会議室2／東京都	ロシア近代からチャイコフスキー、カ バレフスキー、ラフマニノフを、ハン ガリーからバルトークの事例を例に挙 げて、ピアノ導入教材、ピアノ教授法、 ピアノ奏法、音楽教育論などを中心に 考察を加えながら発表を行った。 発表者：中畑淳 梅津彩音 吉田圭祐 深谷悠里絵

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
何 燕 生 (福島寅太郎)	(学術論文) 1. 当仏陀遇到雅思佩爾斯 (Karl Theodor Jaspers) : 『大哲學家』 仏陀章読後	単	2019年 5 月	『世界歴史与世界哲 学論文集』別冊、1-8 頁、武漢大学哲学院。 (武漢)	「軸時代 (Achsenzeit)」を唱えた ことでも知られるドイツの哲学者カー ル・ヤスパースの『大哲学者たち』の 「仏陀」章を中心に、ヤスパースの仏 教理解の特徴について検討し、その意 義を考察した。
	2. 瘋癲・破格・禪：尋夢『臨濟 録』的柳田聖山	単	2019年 8 月	『文匯学人』第403期 1-15、上海文匯学人 期刊社 (上海)	20世紀最大な禪学研究者とされている 柳田聖山における『臨濟録』理解とそ の特徴を考察した。
	3. 道元対心常相減論的批判	単	2019年10月	『中国禅学』第 8 卷、 336-348頁、河北禅学 研究所 (河北)	再録。以前日本語で書いた論文の中国 語簡体字版。
	4. 百年来日本出版的第一部当代 中国高僧の学術専著－『生活禅 鑰』日文版翻訳	単	2019年10月	『中国禅学』第 9 卷、 829-836頁、河北禅学 研究所 (河北)	再録。以前日本語で書いた論文の中国 語版。(諸般の事情により 8 巻と 9 巻が 同時に刊行された)
	5. 「大乘仏教」概念中の日本立 場－以1924年木村泰賢参加廬山 「世界仏教連合会」期間の講演為 中心	単	2019年10月	『宗門教下－東亞仏 教宗派研究』470-485 頁、北京大学仏教研 究センター編、宗教 文化出版社 (北京)	一昨年同じテーマで開催された国際シ ンポジウムで発表した論文の再録。再 録に当たって、特に「大乘仏教」とい う概念の成り立ちについて再検討し、 内容を加味した。
	6. 「在日本発見太虚」系列研究	単	2019年11月	『第二回太虚与近代 中国国際学術研討会 論文集』81-105頁、北 京大学仏教研究セン ター (北京)	ここ数年筆者が外務省外交史料館で 行ってきた民国仏教史料調査をもとに した民国時代における中日仏教交流に 関する研究成果の一部である。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	7. 近代文明対話中の東亜仏教知識的建構－以「大乘仏教」論述為中心	単	2019年12月	『現代文明理論的反省与再重建学術研究会』、78-84頁。 武漢大学文明対話高等研究院（武漢）	カール・ヤスバースと木村泰賢の「大乘仏教」論を取り上げて比較検討し、近代東西文明対話におけるそれぞれの問題関心について考察した。
	8. 太虚在廬山弘法期間与日本仏教界的交流	単	2019年12月	『宗教学研究』2019年第4期、114-126頁、 四川大学道教与宗教文化研究所（成都）	外務省外交史料館所蔵の民国仏教関係史料をもとに、廬山での布教時代における太虚と日本仏教徒との交流について考察した。
	9. 現代中国語圏における道元の 発見－聞き取り調査から－	単	2019年12月	『国際禅研究』第4号、 159-183頁、東洋大学東 洋学研究所、国際禅 研究プロジェクト （東京）	2018年に開催された国際シンポジウム「道元研究の最前線」で発表した内容を論文化したものである。有効回答59通のアンケートから、現代中国語圏における道元の受容の実態とその特徴について考察した。
	(その他)				
	1. 講演「中国仏教は如何に日本へ伝えられるか」	単	2019年7月28日	臨濟宗六祖寺	信者を対象としたもの。
	2. 講演「日本外務省所蔵民国仏教史料の整理と成果」	単	2019年11月1日	北京大学	公開学術講演会
	3. 講演「問題としての東亜の『思想』」	単	2019年11月4日	中国社会科学院哲学研究所	公開学術講演会
	4. パネリスト「世界歴史と文明対話」	単	2019年5月	武漢大学文明対話 高等研究院	国際シンポジウムの特別企画

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	5. 学会発表「国家・宗教・移民 －安積疏水事業に見る」	単	2019年6月9日	印度学宗教学会 第60回学術大会、 天理大学	安積疏水事業に関わる郡山市内の神社 の由来から国家と宗教と移民問題につ いて検討した。
	6. 学会発表「近年中国における 仏教研究－北京大学『北大仏学』 を事例に」	単	2019年9月14日	日本宗教学会 第78回学術大会、 帝京科学大学	近年中国における仏教研究の新しい動 向について、北京大学『北大仏学』創 刊号の発行を手掛かりに考察した。
	7. 書 評「馬 克 瑞 (John R. McRae) 与日本禅宗史研究伝統」	単	2019年12月3日	『上海書評』 2019年12月3日発行号	北米の禅研究界で大きな業績を残した 故ジョン・マクレイ (John R. McRae) 氏のSeeing Through Zenの日本語訳と 中国語訳の出版に合わせ、氏の禅研究 の成果とその特徴について論じた。

浅 野 章	(著書)				
	1. 国画13の視線展	単	2019年4月	ギャラリー向日葵 東京都中央区銀座	「人の心の中にある原初的なもの。そ して今の自分の記録としての“風景”。」 というテーマを基に油彩画で表現した 作品「ダンスダンス」を含め、2点を 発表。
	2. 第93回国展	単	2019年5月	国立新美術館 東京都港区六本木 その後、愛知県美術 館・大阪市立美術館・ 福岡市立美術館を巡回	同上テーマの大型作品「ゴールドママ」 (227×182cm) を発表。
	3. 第73回福島県総合美術展	単	2019年6月	福島県文化センター 福島市	同上テーマの作品「ゴールドママ・2」 を発表。
	4. 遊A会展	単	2019年6月	ギャラリー柏屋 郡山市	同上テーマの作品「たからもの」を含 め2点を発表。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	5. 郡山開成学園美術展	単	2019年 8 月	うすい百貨店ギャラリー 郡山市	同上テーマの作品「ミラクル富士」を 含め 4 点を発表。
	6. 第63回郡山市総合美術展	単	2019年11月	郡山市文化センター 郡山市	同上テーマの作品「動く絵」を発表。
	7. 浅野アキラ絵画展	単	2019年11月	アートギャラリー三遊 会津若松市	同上テーマの作品「くるくる富士」を 含め25点を発表。
	8. 浅野アキラ展	単	2019年12月	ギャラリー惣 東京都中央区銀座	同上テーマの作品「青いオオカミ」を 含め20点を発表。
	9. 画廊企画特別展	単	2020年 2 月	アートギャラリー三遊 会津若松市	同上テーマの作品「手のひらの愛」を 含め 3 点を発表。
	10. 春のマーメイド展	単	2020年 3 月	ギャラリーマーメイド 愛媛県松山市	同上テーマの作品「人魚」を発表。
齊 藤 弘 久	(著書)				
	1. 第91回新構造展	単著	2019年 6 月	東京都美術館	「Efu-Taru」ジクレー
	2. 第57回新構造社埼玉 支部展	単著	2019年 7 月	埼玉県立近代美術館	「Ku-Shan」ジクレー
	3. 第34回埼玉県版画家 協会展	単著	2019年 9 月	川越市立美術館 (埼玉県)	「Efu-TaruII」ジクレー
	4. 第57回大洋美術協会展	単著	2019年10月	東京銀座交通会館 ギャラリー	「Me-Ga」ジクレー
	5. 新構造社台湾展	単著	2019年12月	台湾新竹市文化局内	「Efu-Taru」ジクレー
	6. 第65回福島水彩展	単著	2020年 1 月	けんしん郡山 文化センター	「Ku-ShanII」ジクレー

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	7. 第8回新構造東京展	単著	2020年2月	六本木国立新美術館	「Tyan-Daka2020」ジクレー
	8. 小品展+チャリティー展 (埼玉県版画家協会主催)	単著	2020年3月	ギャラリー麦 (埼玉県狭山市)	「Yaku-Sha」(葉叉)ジクレー
桑 野 聡	(学術論文) 1. 「郡山女子大学におけるキャリア教育の試み－キャリアデザインⅠの事例から」	共	2020年3月	『郡山女子大学紀要』 第56集 1～15頁	本学の共通基礎科目として開講されている「キャリアデザインⅠ」の7年間の実施内容を辿り、本学のキャリア教育の現状と課題を整理した。
	(その他) 1. 報告書「コメント：ヨーロッパ前近代の複合国家」	単	2020年3月	愛知大学『ワークショップ報告書 ヨーロッパ前期代の複合国家』35～46頁	2018年10月13日に愛知大学で開催されたワークショップにおける中世後期のブルゴーニュ公国と近世ハプスブルク帝国の報告に対するコメントとして盛期中世～近世のヴェルフェンの事例をまとめた。
	2. 発表「大学の学びを活かした地域活動－郡山女子大学短期大学部地域創成学科の試み」	単	2019年8月29日	第69回東北・北海道地区大学等高等・共通教育研究会(弘前大学)	同研究会の3つの分科会の第1分科会「地域を学ぶ、地域で学ぶ、地域と学ぶ」と第1報告として地域創成学科の2年次のプロジェクト演習を中心に8つの地域活動を報告した。
	3. 報告書「大学の学びを活かした地域活動－郡山女子大学短期大学部地域創成学科の試み」	単	2020年3月	『第69回東北・北海道地区大学等高等・共通教育研究会研究集録』20～23頁	上記の発表報告を収録した報告書。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
會 田 容 弘	(学術論文) 1. 「笹山原遺跡No.16第19次発掘調査」	単著	2019年12月	『第33回 東北日本の旧石器文化を語る会 予稿集』 pp.91-97	笹山原遺跡No.16の2019年調査成果の旧石器部分について報告した。
	(その他) (展示) 1. 「発掘ガールー郡山女子大学短期大学部地域創成学科2019年笹山原発掘調査速報展ー」	共同	2019年9月7日 ～10月6日	大安場史跡公園ガイダンス施設	笹山原遺跡No.16の2019年調査成果と発掘調査と資料整理過程を展示した。
	2. 「発掘ガール奮闘記ー笹山原遺跡発掘調査の記録」	共同	2019年11月23日 ～12月28日	会津若松市歴史資料センター企画展示室	笹山原遺跡No.16の2019年調査成果と発掘調査と資料整理過程、平安時代の土師器生産関連資料を展示した。
	(講演) 1. 「結髪土偶立ち上がる」	単独	2019年7月27日	令和元年度寒河江市埋蔵文化財フェア講演会	約90年前に石田遺跡から出土した土偶の体部と脚部が別々に保管され、昨年接合することが明らかになった経緯を語った。
	2. 「考古学と家政学の関係ー縄文人の食を探るー」	単独	2019年9月7日	(一社)日本家政学会東北・北海道支部第63回研究発表会講演	里浜貝塚資料を用いて実証的縄文人の食生活復元方法と結果を提示した。
	3. 「平安時代の笹山原ムラー土師器作りのムラー」	単独	2019年11月23日	第68回「まなべこ」歴史文化講座	笹山原遺跡No.16の調査で明らかになった土師器生産過程を中心に講演を行った。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
知 野 愛	(学術論文)				
	1. 福島県農業普及誌にみる生活改善普及事業と高齢化問題	単著	2020年3月	「郡山女子大学紀要」第56集	福島県の農業改良普及誌「農友」(1973-1982年分)を調査し高齢化に関する記事を抽出した結果、県が生活改良普及事業で高齢化問題に取り組む前年に特集が組まれ多方面から高齢化問題について論じられていたこと等がわかった。
	2. 郡山女子大学におけるキャリア教育の試みーキャリアデザインⅠの事例からー	共著	2020年3月	「郡山女子大学紀要」第56集	本学の共通基礎科目として開講されている「キャリアデザインⅠ」の7年間の実施内容を辿り、本学のキャリア教育の現状と課題を整理した。
	(その他)				
	1. 「地域創成を目指して」	単著	2019年4月	福島民報「民報サロン」(2019.4.11)	本学科の「地域創成プロジェクト演習」の活動内容に触れ、名誉学園長の「わが住む街を見る」という論稿から学んだこと等を記述した。
小 松 太 志	(展覧会)				
	1. 第69回モダンアート展	単著	2019年4月	東京都美術館／東京都台東区	美術団体モダンアート協会主催の美術展。出品作品：「鼓動Ⅰ」「鼓動Ⅱ」(賞候補)
	2. 第69回モダンアート東北・北海道展	単著	2019年7月	福島県文化センター／福島県福島市	美術団体モダンアート協会主催の美術巡回展。出品作品：「鼓動Ⅰ」「鼓動Ⅱ」
	3. 第七回ふくしま在住作家展	単著	2019年7月	アートスペース羅針盤／東京都中央区	福島を拠点とする作家のグループ展。出品作品：「鼓動Ⅳ」

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	4. Play in あだたら2019	単著	2019年 9 月	あだたら高原美術館 青－ao－／福島県二本松市	あだたら高原美術館主催によるアートイベント。出品作品：「LEVEL－Ⅰ」「LEVEL－Ⅱ」
	5. FORTE 試行する作家たち ■ フォルテ7人展	単著	2019年11月	アートスペース羅針 盤／東京都中央区	画家 石川忠一を中心としたグループ展。出品作品：「鼓動Ⅰ」「鼓動Ⅴ」
	(デザイン) 1. 福島さくら農業協同組合のトマトジュース〔無塩〕パッケージデザイン	単著	2019年 9 月	福島さくら農業協同組合	販売：福島さくら農業協同組合、製造：カゴメ株式会社のトマトジュース〔無塩〕のパッケージデザインを提案した。
	2. 葛尾創生電力株式会社のSPツールデザイン	単著	2019年10月	葛尾創生電力株式会社、葛尾村、福島発電株式会社	葛尾創生電力株式会社の会社案内、展示パネル等のSPツールのデザインを提案した。
松 田 理 香	(作品発表・展示会等) 1. 2019 現代童画会 春季展	単	2019年 4月1日～7日	会場： 銀座アートホール (東京都中央区)	主催：現代童画会 作品名：「通り雨」(S 8号) 主な材料：アクリル絵具・色鉛筆
	2. 第45回 現代童画展	単	2019年 11月10日～16日	会場： 東京都美術館 (東京都台東区)	主催：現代童画会 作品名：「plastics」(S80号) 主な材料：アクリル絵具・色鉛筆
山 口 猛	(学術論文) 1. 郡山女子大学におけるキャリア教育の試み－キャリアデザインⅠの事例から－	共	2020年 3 月	郡山女子大学紀要 第56集	本学におけるキャリア教育科目「キャリアデザインⅠ」の事例を紹介し、現代のキャリア教育支援の在り方を考察した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(その他) 1. マインドマップとループリックの組合せによる学修過程評価の試み(口頭発表)	単	2019年 8 月	日本リメディアル教育学会	学修評価の信頼性向上と学習者の学修支援の方法を提案した。大会発表優秀賞を受賞。2019年度基盤研究(C)(一般)19K03073助成研究
仲 田 佐和子	(学術論文) 1. 「郡山女子大学におけるキャリア教育の試み－キャリアデザインⅠの事例から」	共	2020年 3 月	「郡山女子大学紀要」第56集	本学の共通基礎科目として開講されている「キャリアデザインⅠ」の7年間の実施内容を辿り、本学のキャリア教育の現状と課題を整理した。
	(その他) (展示) 1. 「発掘ガールー郡山女子大学短期大学部地域創成学科2019年笹山原発掘調査速報展－」	共同	2019年 9月7日～ 10月6日	大安場史跡公園ガイダンス施設	笹山原遺跡No16の2019年調査成果と発掘調査と資料整理過程を展示した。
	2. 「発掘ガール奮闘記－笹山原遺跡発掘調査の記録」	共同	2019年 11月23日～ 12月28日	会津若松市歴史資料センター企画展示室	笹山原遺跡No16の2019年調査成果と発掘調査と資料整理過程、平安時代の土師器生産関連資料を展示した。
黒 沼 令	(その他) 1. 里山の彫刻家11人展	単	2019年 4 月	福西本店ギャラリー 福島県会津若松市	共同展示会。「憂う人」(65×30×35cm 樗・桐)、「貌Ⅰ」(40×20×20cm テラコッタ) 他2点出品。
	2. 第93回 国展彫刻部	単	2019年 5 月	国立新美術館 東京都中央区	団体公募展。会員として「刹那」(210×100×100cm 樗・楠) 出品。
	3. 第73回 福島県総合美術展	単	2019年 5 月	福島県文化センター 福島県福島市	福島県主催の公募展。招待として「憂う人」(65×30×35cm 樗・桐) 出品。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	4. 郡山市立美術館 常設展示	単	2019年7月	郡山市立美術館 福島県郡山市	郡山市立美術館「郡山と彫刻」という テーマの常設展に特別展示。「刹那」 (210×100×100cm 樺・楠)、「物思い II」(75×35×25cm 桂・朴) 出品。
	5. 前山彫刻 シンポジウム企画 展	単	2019年7月	坂本分校 福島県会津坂下町	共同展示会。「風」(70×20×15cm 樺・ヒメコマツ)「囁く人」(50×20× 20cm 桂・樺) 出品。
	6. 脈・FUKUSHIMA 2019展	単	2019年8月	福島県文化センター 福島県福島市	共同展示会。「漂う人」(220×120×100 cm樺・桂・水木)、「数学者」(60×20× 25cm 樺・桐) 他3点出品。
	7. 第1回 郡山開成学園美術展	単	2019年8月	うすい百貨店 福島県郡山市	共同展示会。「雲居」(60×15×15cm 楠・樺) 出品。
	8. 繋展 福島大学彫刻研究室の 20年	単	2019年8月	あだたら高原美術館 -ao- 福島県二本松市	共同展示会。「猿」(25×10×10cm 桂・樺)、「侵蝕」(60×25×30cm 朴・ 樺) 出品。
	9. 不来方高校美術工芸コース OB展	単	2019年8月	旧石井県令私邸 岩手県盛岡市	共同展示会。「漂う人」(220×120×100 cm樺・桂・水木)、「数学者」(60×20× 25cm 樺・桐) 他3点出品。
	10. 黒沼令彫刻展	単	2019年10月	Cafe&Gallery1231 岩手県奥州市	個展。「雲居」(60×15×15cm 楠・樺)、 「猿」(25×10×10cm 桂・樺)、「侵 蝕」(60×25×30cm 朴・樺) 他14出品。
	11. 国展秋季展	単	2019年11月	東京都美術館 東京都台東区	共同展示会。「数学者」(60×20×25cm 樺・桐) 出品。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	12. 第55回 福島県彫刻会展	単	2019年11月	福島県文化センター 福島県福島市	共同展示会。「数学者」(60×20×25cm 樗・櫟)、「風」(70×20×15cm 樗・ヒメコマツ) 出品。
	13. 第63回 郡山市 総合美術展	単	2019年11月	郡山市文化センター 福島県郡山市	郡山市主催の公募展。審査員として、「貌一Ⅲ」(40×20×20cm テラコッタ) 出品。
	14. 第72回 岩手芸術祭 美術展	単	2019年11月	岩手県民会館 岩手県盛岡市	岩手県主催の公募展。「漂着」(70×35×30cm 樗・ヒメコマツ)、「浮動」(70×35×30cm 樗・ヒメコマツ) 出品。芸術祭賞受賞。
	15. アートフェスタいわて2019	単	2020年2月	岩手県立美術館 岩手県盛岡市	共同展示会。「漂着」(70×35×30cm 樗・ヒメコマツ) 出品。
佐 藤 愛 未	(学術論文) 1. 「葛尾村三匹獅子舞関係資料 の概要－祭典組と資料保存－」	単	2020年3月	『郡山女子大学紀要』 第56集	福島県双葉郡葛尾村の伝統芸能である、葛尾村三匹獅子舞の運営に携わる祭典組で作成された資料の概要調査・資料目録を作成し検討を行った。
	(その他) 【展示】 1. 「発掘ガール奮闘記－笹山原 遺跡発掘調査の記録」	共	2019年 11月23日～ 12月28日	会津若松市歴史資料 センター企画展示室	笹山原遺跡No.16の2019年調査成果と発掘調査と資料整理過程、平安時代の土師器生産関連資料を展示した。
	【講演】 1. 「福島県の戊辰戦争－中・小 藩の動向を中心に－」	単	2019年 11月9日	三春町歴史民俗資料 館主催「秋季特別展 関連歴史講演会」	戊辰戦争で現在の福島県全域が戦禍に巻き込まれた。その時の状況について、中・小藩の動向を中心に講演した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
和 知 剛	(その他) 1. 講演「改正著作権法と大学図書館」		2019年 5 月	大学図書館問題研究会第27回オープンカレッジ（愛知大学名古屋キャンパス）	
	2. 講演「著作権法改正とSNSを利用した研究業績の情報発信について」		2019年 6 月	筑波大学第 2 回著作権法の一部改正に係る研修会（筑波大学筑波キャンパス）	
米 本 順 子	(その他) 1. 第93回国展	単	2019年 5 月 1 日～13日	東京六本木国立新美術館（東京都港区六本木）	団体公募展。 『縁』 F130号。
	2. 第73回福島県総合美術展覧会	単	2019年 6 月14日～23日	とうほう・みんなの文化センター（福島県福島市）	団体公募展。 『空泳ぐ』 F50号。
	3. あだたらの視点2019「福島青年美術の展望」	単	2019年 11月15日～17日、 22日～24日、 29日～12月 1 日 (後期)	あだたら高原美術館青 - ao -（福島県二本松）	グループ展。 『縁』 F130号。
	4. 第 3 回コレカラノヒトタチ展	単	2020年 2 月17日～23日	銀座ギャラリーあづま（東京都中央区銀座）	グループ展。 F30号、F 4 号 計 2 点。

【社会活動】

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
関 口 修	医療法人安積保養園 あさかホスピタル	理事 事業計画、収支予算に関する検討
	一般財団法人短期大学基準協会	理事長 短期大学教育活動等についての総合的な評価、教育研究水準の向上、質的充実を図る
	日本私立短期大学協会	会長 私学の特質を保持しつつ、会員相互の協力により私立短期大学の自主性、公共性を高め健全な発展に寄与
	私立短期大学教育振興会	会長 短期大学の法制面での経常費補助金確保等対応
	全私学連合代表者会議	短期大学 代表 全私学の振興、諸施策等について協議
	日本私立学校振興・共済事業団運営審議会	委員 私立学校の教育、充実、向上、その経営の安定及び福利厚生を図るため、補助金の交付、資金の貸付援助に必要な業務に資す
	日本私立大学協会 全 東北支部	評議員 理事 私立大学教育、学術研究の発展、振興に関すること
	福島第一原発事故被害のため原発被害福島県私立大学・短期大学連合会	顧問 福島県内の私立大学、私立短期大学の連携を図り、高等教育の振興に資す
	一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会顧問会議	顧問 オリンピック・パラリンピック教育の推進、大会機運の醸成等取組を進める

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
【郡山女子大学】		
影 山 彌	郡山市情報公開審査会	委員。 郡山市情報公開制度の運用状況全般や、公文書一部開示決定に係る異議申し立てについて審議し答申をまとめる。
	郡山市個人情報保護審査会	委員。 郡山市民の個人情報の保護に関して広く審議する。
	家政学原論部会東北・北海道地区委員	当地区大学における家政学原論研究を振興し、家政学の学問的確立を促進する。
武 井 玲 子	郡山市廃棄物減量等推進審議会委員	郡山市の一般廃棄物処理基本計画策定やゴミ処理の各施策に関する審議提案。
	(一社)日本家政学会色彩・意匠学部会(役員)	研究者間の共同研究推進、交流を通して、色彩・意匠学の学術研究成果を高め、家政学の発展に寄与。
	令和元年度福島県高等学校教育研究会家庭部会研究大会	「地球資源や地球環境を未来につなげる生活を考える～衣生活を例として～」をテーマとして講演。(令和元年8月)
山 形 敏 明	令和元年度小野町地域創生総合戦略、調査委員	小野町との包括連携協定に関する事業として、地方創生(まち・ひと・しごと創生)に関するアンケート調査報告書作成並びに小野町主催ワークショップに参加した。
	郡山市公園のあり方に関する意見聴取会	郡山市都市整備部公園緑地課による郡山市の公園のあり方に関する意見聴取会に公園の再整備についての意見を紙面参加した。
	木材製品需要拡大事業	実証実験に基づいた天井野縁ユニットの施工方法について検証し、施工マニュアルを作成した。
安 田 純 子	福島県留学生交流推進会議運営委員会	運営委員 留学生交流事業協力、会議等の出席

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市国際交流協議会運営委員会	委員 郡山市における国際交流事業の推進協力、会議等の出席 郡山市国際交流協議会設立30年記念事業参加
	福島県医療福祉関連教育施設協議会	理事 事業協力、会議等の出席、ネクストホープ研修・教員研修準備 ネクストホープ研修当番校として準備運営
	平成31年度教員免許更新講習	選択領域家庭 講師 教員免許更新講習受講生を対象に「女性の労働と家庭生活」の講義を担当
難 波 めぐみ	福島県文化振興審議会	委員 福島県の文化振興を図るため、文化振興審議会が設置され、県の文化振興の在り方等について審議
	郡山市技能労働者選考委員会	委員 技能を通じ郡山市の産業発展に貢献した卓越技能者の選定及び表彰
	公益財団法人郡山市観光交流振興公社	評議員 地域社会の発展と潤いのあるまちづくりに寄与することを目的に、同審議会における内容を審議。
	放送大学第1学期面接授業	生活と福祉「暮らしの中の衣生活」の講師を務める (令和元年6月8、9日)
	古殿町公民館主催事業 「クラフトセミナー」	講師 地域にお住まいの方々を対象に、作品作りを楽しみ、趣味の拡大を図ることを目的に、「手編みのバックとアクセサリー作り」の指導を行った (令和元年6月20日、27日、7月4日、11日、18日(合計5回))
	名倉地域公民館主催事業 名倉学園	地域にお住まいの方々を対象に、「二十四節気を学ぼう！」の中の、今回は、雨水の頃(雛祭り)と立夏の頃(端午の節句)についての企画に携わった(令和元年8月9日)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福島中央テレビ番組審議委員会	委審議委員 福島中央テレビ（FCT）課題番組を合評
	2019年度教員免許更新講習	選択領域家庭講師 教員免許更新講習会受講生を対象に「快適な衣生活」として講義と実習を担当した（令和元年7月31日）
	（一社）日本家政学会 色彩・意匠学部会	副部長 副部長、庶務として会の運営に携わっている
	服飾文化学会	委員 庶務として会の運営に携わっている
熊 田 伸 子	福島県介護サービス苦情処理委員会	委員 福島県国民健康保険団体連合会で受付けた介護サービスの苦情・相談について、対応を審議した
	郡山市地方社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会	委員（委員長） 郡山市からの諮問事項に関し、審議した
	郡山市介護保険運営協議会	委員（副委員長） 第七次郡山市高齢者福祉計画・郡山市介護保険事業計画の進行管理および第八次計画策定に向けて協議した
	郡山市地域密着型サービス等運営委員会	委員 郡山市における地域密着型サービス等の整備状況、地域包括ケアシステムの構築について協議した
	社会福祉法人郡山市社会福祉協議会第4次地域福祉活動計画進行管理委員会	委員（副委員長） 社会福祉法人郡山市社会福祉協議会『第4次地域福祉活動計画』（2018～2021年度）の進行管理及び各事業の今後の方向性について審議した

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	本宮市保健福祉行政推進協議会	委員 本宮市保健福祉行政全般における各種計画及び諸問題について協議した
	鏡石町（仮称）健康福祉センター基本計画策定委員会	委員 健康福祉センター整備基本計画について協議した
	社会福祉法人くわの福祉会	監事 当法人の業務執行状況について監査を行った
	本宮市地域連携事業	本宮市高齢者いきいき交流事業の企画・運営協力
関 川 悦 雄	郡山市教育委員会協力委員	小・中学校使用の教科用図書の選定
山 本 裕 詞	特定非営利活動法人 発達支援機関リソースセンター one	役員（監事）：発達障害児の自立支援を目的に、発達相談や治療教育及び講演会等を行う当該法人において、理事の業務執行状況を監査した。
堀 琴 美	福島県立医科大学ハラスメント対策委員会	委員 ハラスメントの調査確認およびその対応についての審議、ハラスメント防止に関する審議、規約改正等の審議等。
	郡山市男女共同参画サポート事業 さんかく教室（郡山市主催）	講師 郡山市の男女共同参画推進をサポートし、市民への啓発を行う出前講座で「DV・虐待の被害者支援」を担当。
	福島県議会自民党児童虐待防止条例制定に関する プロジェクトチーム ヒアリング	参考人 福島県の児童虐待を根絶するための条例制定にあたって、各分野の専門家から意見を聴衆する会合に招致され、意見を述べた。
	令和元年度 発達障害児等療育支援事業フォロー アップ相談会	アドバイザー 郡山市立希望ヶ丘学園で行われた発達障害児等のスクリーニング検査および保護者との面接において、保護者の悩みの聞き取りとアドバイスをを行った。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福島県保育協議会県南支部主任保育士研修会	講師 県南の主任保育士を対象とした研修会で「わかりやすく伝えるコミュニケーション技術 アサーション・トレーニング」を行った。
	福島県男女共生センター 男女間における暴力の防止と被害者支援事業講演会	講師 一般向け講演会で「虐待と愛着障害とメディアバイオレンス ーなぜ虐待は増え続けるのかー」というテーマの講演を行った。
	郡山女子大学人間生活学科 第7回市民講座 「暮らしの1ページ」	講師 「ネット・ゲーム依存と子どもの発達」というテーマで講演を行った。
	放送大学福島学習センター	客員准教授 学習相談およびゼミ形式の授業を担当した。
	郡山看護専門学校	非常勤講師 「心理学」を担当した。
阿 部 恵利子	令和元年度小野町地域創生総合戦略、調査委員	2019年7月17日（水）9月25日（水）、 小野町との包括連携協定に関する事業として、地方創生（まち・ひと・しごと創生）に関するアンケート調査報告書作成並びに小野町主催ワークショップに参加した。
	木材製品需要拡大事業	実証実験に基づいた天井野縁ユニットの施工方法について検証し、施工マニュアルを作成した。
	2019年度サマーリフレッシュプログラム （教員免許更新講習）	2019年7月30日（火）会場：郡山女子大学 「快適な住生活」講師
	不動産フェア2019×暮らしとゆめとクリエイト	2019年9月8日（日）会場：ビッグパレットふくしま 特別パネルディスカッション「これからの住まい」のパネラーを務めた。
	石工（ロック）フェス in 石蔵2019	2019年9月16日（月）会場：JAふくしま未来 小坂支店 文化遺産活用と地域貢献を目的として、イベントブース運営に携わった。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	講義「リビングデザイン」講師	2019年11月12日(火) 会場：福島県立岩瀬農業高等学校 リビングデザイン履修生徒を対象に、住居の設計とインテリア計画について講義を行った。
廣 野 正 子	平成31年度郡山市内大学との協定に基づく連携事業	委員 郡山市教育委員会と連携し、大学生ボランティア事業の推進をした。
	福島県主催「ケアフェスふくしま」	介護福祉士養成校として来場者へ介護福祉士（社会福祉士）、介護の仕事についてのアピールを実施した。（令和元年11月24日）
	NPO法人福祉デザインLab	理事 運営や企画に携わる。
Daniel Horner (ダニエル・ホーナー)	Koriyama Junior High Schools' English Oratorical Contest	Chief judge of the English speech contest. My duties are to preside over the speech contest and advise the committee on ways to ameliorate it.
	Miharu Town's Junior High Schools' English Oratorical Contest Committee	Chief judge of Miharu Town's English speech contest. My duties are to recruit new judges and advise the students on ways to become better public speakers.
	University of Wisconsin - Eau Claire Alumni Association	Coordination of international exchanges of teachers and students between Fukushima and Wisconsin State, USA.
	International Relations Seminar for Citizens	Instruct citizens in areas of English language, American and world culture, current events, and so on.
長 田 城 治	日本建築学会東北支部歴史・意匠部会	歴史的建造物の調査、建物の保存計画や要望書の提出、各種講演活動などの運営に委員として携わった。
	日本建築学会民家小委員会 委員	民家に関する文献やフィールド調査およびシンポジウムなどの開催による研究成果の報告などを行った。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福島県国見町「国見町歴史的風致維持向上計画」調査員	「国見町歴史的風致維持向上計画」（文部科学省・農林水産省・国土交通省認定）で策定した歴史的風致維持向上に関する事業の中で、国見石の保存・活用調査事業を担当し、国見石に関する採掘や石切り場の調査および歴史的建造物の文化財への指定、国見石に関するイベントの企画・運営に関わった。
	高畠石の会 顧問	「高畠石の会」（山形県高畠町）の顧問として、高畠石に関する調査活動や高畠石の広報活動を行った。
	国見町文化財保護審議会 委員	国見町文化財保護審議会の委員として、同町文化財の指定・解除等の審議および文化財的価値の精査を行った。
	熱中小学校 社会科教員	NPO法人はじまりの学校
	講演：郡山女子大学人間生活学科市民講座「暮らしの1ページ」	講演「建築のミカター建築動物大博覧会編ー」主催：郡山女子大学人間生活学科
	コーディネーター：東海大学山形高等学校第1回市民講座	イベントツアー：「まほろばの里「たかはた」の食と文化を訪ねて」主催：東海大学山形高等学校
	講習会：令和元年度ヘリテージマネージャー育成講習会講師	講習授業「所見の書き方ほか」主催：福島県歴史的建造物保存活用促進協議会
	受託調査事業：杉本家住宅主屋（旧多胡藩陣屋）に関する建物調査	旧多胡藩陣屋を移築転用した杉本家住宅主屋が解体されるため、各種図面製作と復元考察を行った。
	受託調査事業：旧三春藩太鼓堂建物調査	三春藩統治時に利用された太鼓堂の建物実測調査を行った。
	受託調査事業：旧西村写真館調査	旧西村写真館の建物実測調査を行い、建物の歴史的・地域的価値を把握し、建物存続のための運動に寄与した。
	受託調査事業：旧吉田家住宅主屋・紫雲閣の国登録有形文化財登録のための調査	三春町の旧吉田家住宅主屋および紫雲閣の国登録有形文化財申請のための調査を行い、所見を執筆した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	体験イベント企画・運営：石工 フェス in 石蔵2019	国登録有形文化財に認定された旧小坂村産業組合石蔵を会場とする国見石に関するイベントの企画・運営に携わった。 主催：国見町歴史まちづくりフォーラム、郡山女子大学人間生活学科建築デザインコース 後援：国見町、国見町教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社 協力：JAふくしま未来、郡山女子大学人間生活学科生活総合コース・福祉コース、短期大学部音楽科・幼児教育学科チャイルドミュージックコース
近 内 直 美	市民協働のまちづくり推進協議会 及びユニバーサルデザイン検証部会	委員 協働のまちづくり推進のための施策についての総合的かつ計画的な推進に協力した また、市役所庁内におけるユニバーサルデザインの検証と改善に協力した
	郡山市障害者介護給付費など支給審査会	委員 障害支援区分の審査判定
	福島刑務支所における「女子施設地域連携事業に係る社会福祉士受刑者相談事業」	相談員 再犯防止のためのソーシャルワーク支援活動を行った
	本宮市地域連携事業	本宮市高齢者いきいき交流事業開催における企画、運営に協力した
	古殿町地域密着型サービス事業所整備事業審査委員会	古殿町における地域密着型サービス事業者の選定及び、高齢者住宅における委託事業の適否の審議に協力した
	令和元年度KGCサマーフレッシュプログラム (教員免許状更新講習会)	講師 相談援助の方法及び福祉制度や身近な福祉について講義や演習を行った
	福島県高齢者虐待対応専門職チーム	運営委員 社会福祉士会と弁護士会との協働により、虐待対応に関する研修などの企画運営に協力した

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	介護支援専門員研修 主任介護支援専門員更新研修	講師 主任介護支援専門員としての実践と振り返りと指導・支援の実践 スーパービジョンとは
	専門研修Ⅱ	ケアマネジメントの実践事例における研究
	再研修・更新研修	介護支援専門員に求められるマネジメント
藤 田 京 子	福島県喀痰吸引等基本研修	2019年度福島県喀痰吸引等基本研修において不特定多数者を対象に講義を行った。(2019年6月6日)
	福島県社会福祉課主催「ケアフェスふくしま」 介護の仕事体験	介護福祉士養成校として、介護福祉士の魅力発信のための企画運営協力。 (2019年11月24日)
紺 野 信 弘	郡山市あさかの学園大学	講師：「生涯学習講座」担当(2019年)
	日本衛生学会	評議員として会に参加
	福島イノベーション・コースト構想推進機構に郡山 女子大学として採択された	「葛尾村におけるエゴマ産業の拡大と地域活性化」の事業名で採択されたのでエゴマ栽培等を中心に事業を展開している。学科の統括担当
西 山 慶 治	福島県立医科大学倫理委員会	専門部会委員として医科大学での臨床試験研究に対する倫理審査を2年間(2020年7月31日まで)
	公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 審査委員	技術等審査委員会委員として研究開発助成事業案に対する審査を実施 (2019.11.29)
	第39回人体解剖トレーニングセミナー	名古屋大学医学部主催のセミナーで、医療系大学の解剖学教官に人体解剖実習を指導(2019.7.29～8.3)
	福島県立医科大学医学部での人体解剖学の講義と実 習指導	非常勤講師として医学部2年生に解剖学の講義(1回)と実習(5回)を実施(2019.5.27)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	仁愛看護福祉専門学校並びに仁愛高校専攻科（会津若松市）で解剖学の講義と実習の指導	非常勤講師として看護学系の学生に解剖学の講義（12回）を行った（2019.4.15～8.26）
	福島県立医科大学主催、福島県・白河市共催の「いきいき健康づくりフォーラム in南相馬」に参画	昨年の白河大会に引き続き、南相馬でのフォーラムに参加した。郡山女子大学（食物栄養学科）と短期大学部（幼児教育学科）とで展示、キッズルームの運営、健康弁当の提供などで協力。
	第4回（令和元年度）ネクストホープ研修会において講義	郡山地区の看護師、保健師、助産師、栄養士等の養成校の学生に対して、「人体の形態と機能の多様性」について講義（2019.7.13）
楢 野 信 子	放送大学面接授業	非常勤講師：「食品表示の基礎知識」を講義した（2019年10月19日、20日、於、放送大学福島学習センター）。
	アサヒビール園メニュー共同開発（第9弾）	ビール園にて提供するメニューとして、成人女子学生が考案した福島県産品を使用した新メニューについて、共同開発に携わった。
菊 池 節 子	福島県県中農林事務所	普及指導協力委員 福島県県中農林事務所管内の農作物等の普及について、6次化開発などを通しての検討等に携わっている。
	「郡山市子どもの心と体の発育見守り事業」調査研究委員会	調査委員 郡山市震災後子どものケアプロジェクト主催調査研究委員会において、子どもの生活習慣の実態把握調査並びに対応策の検討に携わっている。
	食習慣、肥満等の健康教育に係る専門家派遣事業	講師 福島県教育委員会主催。矢吹町立矢吹中学校生徒を対象に、「食生活を見なおそう！～スポーツと栄養について～」の講師を務めた。（令和元年7月12日）
	食習慣、肥満等の健康教育に係る専門家派遣事業	講師 福島県教育委員会主催。猪苗代支援学校小学部～高等部の児童生徒を対象に、「令和元年度 親子クッキング教室」の講師を務めた。（令和元年7月23日）

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	令和元年度安達地区学校給食研究会調理実技研修会	講師 安達地区学校給食研究会会員を対象に、調理実習「減塩で給食づくり」の講師を務めた。(令和元年7月24日)
	令和元年度KGCサマーリフレッシュプログラム (教員免許状更新講習会)	選択領域家庭科講師 教員免許状更新講習会受講生を対象に、「卵の調理特性－実験と実習」のテーマで、卵の調理特性とその特性を用いた調理法について、講義と実習を通して紹介した。(令和元年7月31日)
	古殿町公民館主催による料理教室「第8回ひまわり学級」	講師 本学と古殿町との包括連携協定に基づき、60代の町民「ひまわり学級」受講生を対象に、地元の食材で簡単に調理することができる中国料理について紹介した。(令和元年12月4日)
	木(森)に由来する伝統文化継承(野生きのこ等食文化継承)	講師 一般県民を対象に、本県で受け継がれてきた木(森)に由来する伝統文化の一つである野生きのこの食文化について、理解とその継承に対する意識の醸成を図るため、きのこ料理試食会にて福島県産きのこを用いたレシピを提案した。(令和元年12月20日)
	ペップキッズこおりやま主催食育イベント	講師 2歳～12歳の親子を対象に、子どもの健全な発育発達に必要な知識を学ぶ親子向けのワークショップとして「福島県の郷土料理を作って食べてみよう！」の体験活動を実施した。(令和元年11月17日・令和2年2月16日)
	JA福島さくら農産物6次化事業 「あさか舞と地元農産物を使用した弁当の製作」	郡山女子大学食物栄養学科学生考案「あさか舞弁当」市販にむけて、JA福島さくらとの共同開発に携わった。 (販売期間：平成元年6月21日～23日)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	「新酒まつり」 (ウィンターフェスタ IN KORIYAMA 2020実行委員会主催)	ウィンターフェスタ IN KORIYAMA 2020実行委員会主催の新酒まつりにおいて、郡山女子大学学生考案の推奨おつまみのサイドメニュー提供に協力した。(令和2年2月6日)
	いきいき健康づくりフォーラム企画弁当	県立医大健康増進センター主催フォーラムでの、郡山女子大学食物栄養学科考案「健康弁当」販売にむけて、(株)山際食彩工房との共同開発に携わった。
	いきいき健康づくりフォーラムin南相馬	県立医大健康増進センター主催。フォーラムにおいて、「糖尿病予防の食生活」をテーマとして展示発表した。(令和2年2月11日)
	一般社団法人 日本家政学会 食文化研究部会	東北・北海道地区委員として会の運営に携わっている。
	一般社団法人 日本調理科学会	代議員として会の運営に携わっている。
	一般社団法人 日本調理科学会東北・北海道支部	地区委員として会の運営に携わっている。
	公益社団法人 日本栄養士会	代議員として会の運営に携わっている。
岡 部 聡 子	郡山市総合地方卸市場運営協議会委員	協議会委員として年数回行われる会議に参加した。
	福島県卸売市場審議会委員	協議会委員として年度当初の会議に出席した。
	子どもの食生活を考える～学童保育で必要な食の知識～ 2019／5／26	学童保育に携わる保育関係者に対して講演会を実施した。アレルギーについてや、食育カルテットの紹介等を行った。
	離乳食の基本について ～アレルギー予防のための離乳の進め方・実践法～ 2019／9／18、2020／3／16	乳幼児を持つ母親と妊婦を対象とした講演会。離乳食の進め方や鉄欠乏性貧血予防の対策について講義した。
	精神科栄養士会のリーフレット作成について 2019／10／2	精神科栄養士協議会のメンバーを対象とした講演会。栄養指導に用いるリーフレットの作成について講義した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	附属高等学校卓球部料理教室「からだを創るアスリート食～貧血を予防するコツ～」開催 2019/11/23 ふくしまで歩む未来へつなぐ：小学生の食選択力の育成 2020/2/9 附属高校生対象「食生活だより」配布 詳しく知りたい子どもの食事～からだを創るって、どんなこと？～ 2020/2/29	会場：郡山女子大学 附属高等学校卓球部の部員とその保護者を対象に、貧血を予防して健康的なからだを創る食事作りのポイントについて料理教室を開催した。 放射線災害・医科学研究拠点事業の助成金により実施した、小・中学生を対象とした鉄欠乏性貧血予防の活動をまとめて、一般市民向けに講演した。 望ましい食生活を身に付けてもらうことを目的に、附属高校生に対して「食生活だより」を作成し、2月に配布した。 保育関係者と一般市民を対象とした食育の講演会。子どもの成長に合わせた食事作りについて気を付けたいポイントをまとめて講演した。
亀 田 明 美	令和元年度つながる食育推進委員会	委員：福島県教育委員会主催の、つながる食育推進事業に、委員として携わった。
	三春町立三春中学校・つながる食育推進事業推進委員会	委員：文部科学省令和元年度つながる食育推進事業の指定を受けた、三春町立三春中学校の食育推進に委員として携わり、生徒の栄養摂取量調査等に協力した。
	郡山市中学校給食会運営委員会	委員：郡山市中学校給食会運営委員会に出席し、給食の年間実施回数、給食費、給食用食材選定等の給食運営に関する協議を行った。
	西郷村食育推進検討委員会	委員：西郷村食育推進検討委員として、児童生徒対象のお弁当コンクールの審査委員として携わった。
	国見町給食センター運営委員会	委員：国見町給食センター運営委員会に出席し、給食費の値上げや食育推進に関する助言を行った。
	第4回福島県きのこ料理コンクール	審査員：福島県産のきのこを活用した料理コンクールに審査員として携わった。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市食育推進コーディネーター研修会における講演会	講師：郡山市食育推進コーディネーター研修会において、郡山市内小中学校教員を対象に学校給食と食育推進に関する講演を行った。（４月17日：郡山市公会堂）
	三春町立三春中学校・つながる食育推進事業研究公開における食育講演会	講師：文部科学省令和年度つながる食育推進事業の指定を受けた、三春町立三春中学校の研究公開において、県内の教員や保護者を対象に講演を行なった。（12月13日：三春中学校）
	健康教育に係る専門家派遣事業	講師：福島県教育委員会主催「健康教育に係る専門家派遣授業」の講師として、矢吹町三神小学校（11月11日）、泉崎中学校（11月28日）において食育講演会の講師を務めた。
影 山 志 保	森林自己学習支援事業 「こおりやま開成の杜 復活プロジェクト」	福島県森林計画課の予算で、郡山市磐梯熱海町にある郡山女子大学総合教育園の活用のために環境調査を実施し、施設の今後の活用方法について検討した。 （令和元年４月１日から現在に至る）
	水未来基金水環境保全活動事業 「猪苗代湖裏磐梯湖沼地域の水質調査と生物について」	福島県水大気環境課による裏磐梯湖沼地域研究予算を用い、裏磐梯の水質調査と特定外来生物ウチダザリガニの分布について調査した。 （令和元年４月１日から現在に至る）
	猪苗代湖・裏磐梯湖沼群水環境保全フォーラム 基調講演「猪苗代湖の水とわたしたちの生活」	水環境を守るために、私たちは何をすべきなのか、水質汚染の原理と改善の方法についてわかりやすく説明した。 （令和元年11月22日）
	ふくしま復興再生可能エネルギー産業フェア 2019出展	郡山開成学園環境委員会活動の一環として、学園の太陽光発電設置状況等の取り組みを発表した。 （令和元年10月30・31日）
	国立研究開発法人国立環境研究所 環境リスク研究センター 客員研究員	国内大気汚染状況について、遺伝毒性の視点からのリスク評価を担当した。 （令和元年４月１日から現在に至る）
	社団法人日本家政学会東北支部監事	日本家政学会東北支部会の運営等を担当している。 （令和元年４月１日から現在に至る）

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福島県公害審査会 審査委員	福島県内の公害紛争処理を担当した。(令和元年4月1日から現在に至る)
	令和元年度中学生・高校生の科学・技術研究論文 野口英世賞審査会審査委員	福島県内の中学生・高校生の科学・技術研究論文の審査委員を務めた。 (令和元年10月17日福島県教育委員会)
	猪苗代湖におけるボランティア活動を考えるワーク ショップ	福島県水大気環境課による猪苗代湖の将来像の共有、水環境保全実践活 動の課題抽出を行うワークショップに出席した。(令和2年1月24日)
佐 藤 浩 明	31年4月～32年3月 2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業等 郡山市推進アドバイザー	大会関連事業に係わる指導、人材育成及び助言。トップアスリートの養 成のアドバイス。
黒 澤 廣 子	福島県糖尿病療養指導士会	平成31年4月14日 福島県糖尿病療養指導士会総会セミナー座長 令和元年7月21日 第12回福島県糖尿病療養指導士会講習会講師
	郡山市	令和2年1月22日 第1回連携中枢都市圏「全世代健康都市圏」創造事 業懇談会
	福島県立医科大学	令和2年2月11日 いきいき健康づくりフォーラムin南相馬に参画 展 示、運営
郡 司 尚 子	葛尾村地域復興支援	第4回葛尾村盆踊りの模擬店運営に協力した。葛尾村で栽培したえごま (じゅうねん)を利用して考案した商品を調理し、模擬店で販売した。 (2019年8月14日) かつらお感謝祭の運営に協力した。葛尾村で栽培したえごま(じゅうね ん)を利用して考案した商品を調理し、来場者へ試食していただいた。 (2019年11月3日)
	えごまアイス試食会の開催	葛尾村せせらぎ荘を入浴のために訪れた来場者を対象にえごまアイスの 試食会を開催した。(2019.10.19～20)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	えごま料理コンテストの開催	本学を会場に、100点を超える応募者の中から書類審査を通過した10名を対象に実技審査を行い、入賞者を選出した。(2019.10.27)
	えごまアイス試作会の開催	葛尾村村民12名、学生2名、教職員4名が参加し、葛尾村特産えごまを使ったアイスの試作会を実施した。(2020年1月30日)
	NHK「うまいッ！」 知ってる？最強食材エゴマ（福島・田村市）出演	福島県産エゴマを栄養から栽培まで、様々な魅力を伝える番組にコメンテーターとして出演し、エゴマの良さや、葛尾村での本学の活動の様子などについて紹介した。(2019年11月29日再放送)
	福島県農業総合センター農業短期大学校 大学講師による高度先端技術講習 講師	非常勤講師として「食品製造」を担当した。 専門高校高度人材育成事業の講師として、福島明成高等学校の2年生40名を対象に、講義・体験実習を担当した。(2020年2月26日)
	2019年度福島イノベーション・コースト構想促進事業に郡山女子大学として採択された 第3回大学連携会議	事業名「葛尾村におけるエゴマ産業の拡大と地域活性化」で採択され、エゴマ栽培、商品開発等を中心に事業を展開した。 葛尾村と協定を締結している3大学（日大工学部・東北大学大学院農学研究科・郡山開成学園）の今年度の活動と次年度計画案について報告し、意見交換を行った。(2020年3月10日)
長谷川 貴 弘	令和元（2019）年度KGCサマーリフレッシュプログラム（教員免許状更新講習会） 郡山看護専門学校	教員免許状講習会受講生を対象に、「家庭経営と経済」及び「消費者問題」について講義した。 非常勤講師：「家族社会学」を担当。
	2019年度第1学期放送大学面接授業〔専門科目（社会と産業）〕	放送大学福島学習センターにおいて、受講生対象に「経済と家庭経営」について講義を行った。
星 千 歳	令和元年度過疎・中山間地域振興事業 「栄養士しごと体験学習」	講師：県中保健福祉事務所主催。小学生4・5・6年生とその親子を対象に、栄養士の仕事についての説明会および夏野菜を利用した調理実習を実施した。(2019年8月8日)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	一般社団法人WAVESJapan主催 「元気に食べていますか」	低栄養予防のイベントにスタッフとして参加した。 (2019年9月29日)
	チャレンジふくしま県民運動フェスタ2019	チャレンジふくしま県民運動推進協議会主催。「食と健康から地域とのつながりを考える」をテーマに出展し、減塩と野菜摂取に関するパネル展示とアサヒビール園での女子大生のメニュー考案活動のポスター展示、血圧測定、ヘモグロビン濃度測定、握力測定、子供対象に食育クイズを行った。 (2019年10月26日・27日)
	郡山市健康づくり推進懇談会	委員：郡山市主催。懇談会に出席し、健康づくりのための計画を効果的に進めるための協議を行った。 (2020年2月10日)
	チャレンジふくしま県民運動 大学と連携した広報・PR事業	チャレンジふくしま県民運動推進協議会の受託事業として、企業の社員食堂で提供できるヘルシーメニューを開発し、社員食堂でメニューの提供を行い、アンケートを実施しその結果を集計した。 (2019年11月1日～2020年3月31日)
伊 藤 央 奈	チャレンジふくしま県民健康フェスタ2019	チャレンジふくしま県民運動推進協議会主催。「減塩&野菜を食べよう大作戦」をテーマに出展。減塩と野菜摂取の重要性についての啓発に携わった。2019年10月26日～27日
	チャレンジふくしま県民運動 大学と連携した広報・PR事業	チャレンジふくしま県民運動推進協議会主催。社員食堂向けのヘルシーメニューの開発と提供を行い、生活習慣病予防の啓発に携わった。2020年2月17日～21日
	いきいき健康づくりフォーラムin南相馬	福島県立医科大学健康増進センター主催。「糖尿病予防の食生活」をテーマとして展示発表した。2020年2月11日
	学校法人石川義塾の学生寮の栄養管理	学校法人石川義塾の学生寮の献立を作成し、入寮する生徒に対しての栄養管理を行った。2019年6月～

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
善 方 美千子	特定非営利活動法人 福島県レクリエーション協会	理事：福島県における生涯スポーツの普及や、体力向上を目指す事業を推進するための理事会に出席、および学生の参画について協力。 (任期2018.7.1－2020.6.30 福島県青少年会館)
	特定非営利活動法人 福島県レクリエーション協会 創立50周年記念式典 関連事業	準備・実行委員：ふくしまレクリエーションフェスタ、創立50周年記念誌の構成および発刊、記念式典の表彰式や懇親会の準備・運営に携わる (2019.11.9 福島市：ホテル福島グリーンパレス)。
	令和元年度 過疎・中山間地域振興事業 「栄養士しごと体験学習」	講師：県中保健福祉事務所の主催事業であり、小学4、5、6年生とその親子を対象に、栄養士の仕事についての説明会および夏野菜を利用した調理実習を実施。(2019.8.8 郡山女子大学)
	えごま料理コンテストの開催	本学を会場に、100点を超える応募者の中から書類審査を通過した10名を対象に実技審査を行い、入賞者を選出した。(2019.10.27)
	えごまアイス試作会	葛尾村村民12名、学生2名、教職員4名が参加し、葛尾村特産えごまを使ったアイスの試作会を実施した。(2020.1.30 葛尾村活性化センター)
柳 沼 和 子	附属高校生対象「食生活だより」配布	望ましい食生活を身に付けてもらうことを目的に、附属高校生に対して「食生活だより」を作成し、2月に配布した。
本 間 杏 菜	えごま料理コンテストの開催	本学を会場に、100点を超える応募者の中から書類審査を通過した10名を対象に実技審査を行い、入賞者を選出した。(2019.10.27)
	附属高校生対象「食生活だより」配布	望ましい食生活を身に付けてもらうことを目的に、附属高校生に対して「食生活だより」を作成し、2月に配布した。
	大学講師による高度先端技術講習助手	専門高校高度人材育成事業の助手として、福島明成高等学校の2年生40名を対象に、講義・体験実習を担当した。(2020年2月26日)
吉 田 朱 里	附属高等学校卓球部料理教室「からだを創るアスリート食～貧血を予防するコツ～」開催	11月23日(土) 会場：郡山女子大学 附属高等学校卓球部の部員とその保護者を対象に、貧血を予防して健康的なからだを創る食事作りのポイントについて料理教室を開催した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	古殿町公民館主催による料理教室「第8回ひまわり学級」	講師 本学と古殿町との包括連携協定に基づき、60代の町民「ひまわり学級」受講生を対象に、地元の食材で簡単に調理することができる中国料理について紹介した。(令和元年12月4日)
	JA福島さくら農産物6次化事業 「あさか舞と地元農産物を使用した弁当の製作」	郡山女子大学食物栄養学科学生考案「あさか舞弁当」市販にむけて、JA福島さくらとの共同開発に携わった。 (販売期間：平成元年6月21日～23日)
	「新酒まつり」 (ウィンターフェスタ IN KORIYAMA 2020実行委員会主催)	ウィンターフェスタ IN KORIYAMA 2020実行委員会主催の新酒まつりにおいて、郡山女子大学学生考案の推奨おつまみのサイドメニュー提供に協力した。(令和2年2月6日)
	大学講師による高度先端技術講習 助手	専門高校高度人材育成事業の助手として、福島明成高等学校の2年生40名を対象に、講義・体験実習を担当した。(2020年2月26日)
星 茉 那	古殿町公民館主催による料理教室「第8回ひまわり学級」	講師 本学と古殿町との包括連携協定に基づき、60代の町民「ひまわり学級」受講生を対象に、地元の食材で簡単に調理することができる中国料理について紹介した。(令和元年12月4日)
	えごまアイス試作会	葛尾村村民12名、学生2名、教職員4名が参加し、葛尾村特産えごまを使ったアイスの試作会を実施した。(2020年1月30日)
【郡山女子大学短期大学部】		
齋 藤 美保子	福島県文化振興事業団評議委員会	委員として事業団の運営を評議すると共に、同事業団の広報活動の学内窓口となった。
	福島県立美術館運営協議会	委員として美術館の運営を協議すると共に、同美術館の広報活動の学内窓口となった。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市美術品収集評価選定委員会	委員として郡山市立美術館の作品収蔵を協議すると共に、同美術館の広報活動の学内窓口となった。
	わくわく子ども大学実行委員会	令和元年8月10日（日）会場：郡山女子大学 夏休み子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した「第4回子ども大学」において、副委員長として企画運営に当たった。
	服飾美学会委員会	委員として学会運営と企画を協議し、総会、研究会等の活動を盛り上げるよう助力した。
會 田 久仁子	ラジオ福島番組制作協力	月曜日朝8時20分からの放送番組「朝から全開！朝ゼミ ビジネスマン講座」の講師を務めた。令和元年5月4回分および11月4回分担当
	わくわく子ども大学 体験ブース講師	令和元年8月10日（土）会場：郡山女子大学 夏休み子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は体験ブース「シーモンスターをさがせ！」の講師を務めた。
	葛尾村地域復興支援	第4回葛尾村盆踊りの模擬店運営に協力した。本学科で考案した凍み餅を利用した商品を調理し、模擬店で販売した。令和元年8月14日
	福島県相双農林事務所主催「相双の食材盛りだくさん！ワンプレートご飯料理コンテスト」審査員	福島県相双農林事務所が主催した料理コンテストの審査員を務めた。令和元年10月6日（日）
	郡山市簡易水道料金審議会委員	郡山市長より委嘱され平成30年11月から委員会に出席して郡山市簡易水道の料金の適正について審議し、副委員長として令和元年10月に市長に答申した。
	郡山市環境審議会委員	郡山市長より委嘱され令和元年11月から副委員長として委員会に出席し郡山市環境基本計画の進行管理等を審議している。
	海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	日本財団主催 郡山女子大学短期大学部共催 本学で開催した親子料理教室の運営にあたった。令和元年11月16日（土）

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	ラジオ福島番組制作協力	令和元12月1日（日）生放送番組「やるぜ！電リク！555～ラジオが結ぶ、ふくしまの声～」 「健康」のコーナーに出演し、番組制作に協力した。
坂 上 茂	わくわく子ども大学	2019年8月10日（土）会場：郡山女子大学、体験ブース「シー・モンスターをさがせ」の講師を務めた。
	海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	2019年11月16日（土）会場：郡山女子大学、日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催で開催した親子料理教室の講師を務めた。
水 野 時 子	放送大学面接授業講師	6月1日（土）、2日（日）に福島学習センターにおいて面接授業「健康と食生活」を実施した。
	公益財団法人福島県体育協会認定スポーツ栄養士スキルアップ講習会講師	7月28日（日） 会場：福島県青少年会館 競技別栄養サポート（卓球競技：演習）の講師を務めた。
	「栄養についてのお話」講師	11月10日 会場：安積総合学習センター 特定非営利活動法人子育て支援コミュニティ プチママン主催事業において、保護者向け「栄養についてお話」の講師を務めた。
	公益社団法人 福島県栄養士会理事	福島県栄養士会理事として栄養士会の運営に携わった。
	公益信託 棚木宇巳子記念奨学育英基金運営委員	運営委員長として運営に携わった。
	郡山警察署協議会委員	郡山警察署協議会に出席し、郡山警察署の業務運営に意見を述べた。
	農産物直売所新築工事プレゼンテーション審査員	福島さくら農業協同組合が新設する農産物直売所設計先候補企業が行うプレゼンテーションに出席し、設計先企業の審査を行った。
	附属高等学校卓球部料理教室「からだを創るアスリート食～貧血を予防するコツ～」開催	11月23日（土）会場：郡山女子大学 附属高等学校卓球部の部員とその保護者を対象に、貧血を予防して健康的なからだを創る食事作りのポイントについて料理教室を開催した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	附属高校生対象「食生活だより」配布	望ましい食生活を身に付けてもらうことを目的に、附属高校生に対して「食生活だより」を作成し、2月に配布した。
小 林 澄 枝	葛尾村地域資源の発掘と応用支援	葛尾村の特産物「凍み餅」を使って「せんべい」「うぐいす餅」などの調理・工夫を試みた。
	第4回県中地区 ネクストホープ研修	医療福祉系の学校（9校）で学ぶ学生が多職種の仕事を理解し自分の職種の果たすべき役割を考えることを目的に研修会が開催され40名の学生が参加した。グループワークの講師を務めた。 2019.7.13（土） 会場：郡山女子大学
	古殿町料理教室	古殿町に住む高齢者30人を対象に料理教室を開催し、講師を務めた。 2019.7.24（水） 会場：古殿町公民館
	「ふくしまうまいもの市」 考案 もものスイーツレシピ	イオン郡山フェスタ店頭で学生が考案した桃のスイーツ3品を「ふくしまうまいもの市」開催の8月3日・4日の2日間、各300食ずつ試食販売した。 2019.8.3（土）～8.4（日）イオン郡山フェスタ店
	一日実技研修～夏休みにリフレッシュ～	郡山市私立幼稚園・認定こども園連合会主催、「幼児の食育を考える」をテーマに加盟園教員50名を対象に料理講習会を行い、講師を務めた。 2019.8.8（木） 会場：郡山女子大学 加工実習室
	第4回 わくわく子ども大学 In 郡山女子短大	夏休み子どもたちの教育支援と地域貢献を目的に体験学習ブースを設けた。当日は、運営委員を務めた。 2019.8.10（土） 会場：郡山女子大学
	葛尾盆踊り	第4回葛尾村盆踊りの模擬店運営を行った。本学科で考案した凍み餅を利用した商品（凍みせんべい、凍みパイ、凍み春巻き揚げ、凍み団子入り黒密豆乳甘酒）500食を調理販売した。 2019.8.14（水） 会場：復興交流館あぜりあ

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	さくらレター vol.6 I ♥おにぎり	JA福島さくらのコミュニティー情報誌「さくらレター」の特集記事、新米で食べよう絶品！おにぎりの掲載記事について、郡山地区「梅」田村地区「えごま」双葉地区「たまねぎ」いわき地区「ネギ」その他「しいたけ」など各地域の産物を使ったおにぎりのレシピの考案と調理・監修を行った。 2019.9.20（金）調理学実習室・ラーコモⅢ
	令和元年度 「こおりやまスイーツ街道」模擬店出店	駅前地区の活性化、回遊性の向上を目的に郡山まちづくり推進協議会主催で企画開催された。当日は、「凍みパイナップルパイ」「クッキー」「パート・ド・フリュイ」「パウンドケーキ」など800食を企画、調理、販売を行った。 2019.10.6（日）：場所 なかまち夢通り
	葛尾村立葛尾中学校料理・食育教室	葛尾村と郡山女子大学・短期大学部の連携協定を受け、調理を通して学生や村民と交流しながら、食への興味・関心を高め、知識を深める目的で料理教室を実施した。中学生8名と村民10名が参加し、蒸しパンやスムージーなどの調理を行った。当日は、講師を務めた。 2019.10.15（火）葛尾中学校ランチルーム・調理室
	葛尾村感謝祭 試食品の調理とアンケート調査	葛尾村感謝祭に参加された方々に本学科が考案した「うぐいす餅」や「おせんべい」など試食用を調理し食味についてアンケート調査を実施した。 2019.11.3（日）会場：葛尾村みどりの里広場
	海と日本プロジェクト さばける塾inふくしま	日本さばけるプロジェクト実行委員会、日本財団が主催し親子で魚のさばき方を学ぶ公開講座を開催し親子10組が参加した。企画・運営を担当した。 2019.11.16（土）会場：郡山女子大学・調理学実習室
	福島医療学研究会	生涯教育講座学術講演会「～幸せになる糖尿病治療を目指して～」講演会世話人として企画・運営を行った。 2019.12.14（土） 会場：コラッセ福島

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	四季の里緑水苑 新規メニュー開発と 既存メニュー監修	四季の里より依頼を受け、お弁当サークルのメンバーが、新メニューを 考案し、その内、22品を提案した。また、四季の里で長年提供している しそおにぎりやバーベキュー、芋煮汁の試食会を実施し、食材や時代に 合った味の見直しについて検討を行った。 2020.1.27（月）：調理学実習室
	うめつLS内科クリニック（福島市）	糖尿病専門クリニックにおいて、栄養カウンセラーを担当した。
	福島県立総合衛生学院	看護学科 非常勤講師「臨床栄養学総論・栄養学」を担当した。
	ポラリス保健看護学院	非常勤講師として「栄養代謝学」を担当した。
	内閣府 食品安全委員	食品安全モニターを担当した。
金 子 依里香	郡山市消費生活審議会委員	任期：平成30年11月1日～平成32年10月31日
	わくわく子ども大学実行委員会（副運営委員長）	郡山女子大学を会場とし、夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を 目的として開催した。副運営委員長として企画運営にあたった。（2019 年8月10日）
	葛尾村地域復興支援	第4回葛尾村盆踊りの模擬店運営に協力した。葛尾村の凍み餅を利用し て考案した商品を模擬店で販売した。（2019年8月14日） 葛尾感謝祭の運営に協力した。葛尾村の凍み餅を利用して考案した商品 を、来場者に試食していただいた。（2019年11月3日）
	海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催で本学で開催した親子料理 教室において講師を務めた。（2019年11月16日）
	第3回大学連携会議	葛尾村と協定を締結している3大学（日大工学部・東北大学大学院農学 研究科・郡山開成学園）の今年度の活動および次年度計画案について、 報告および意見交換を行った。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
澤 渡 優 喜	わくわく子ども大学実行委員会 実行委員及び体験ブース講師	令和元年8月10日（土） 会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。実行委員会では実行委員として企画運営にあたった。また、当日は体験ブース「けんびきょうでマイクロワールドをのぞいてみよう！」の講師を務めた。
鈴 木 奈津子	わくわく子ども大学 運営スタッフ	2019年8月10日（土） 会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、運営スタッフを務めた。
加 藤 雅 子	わくわく子ども大学 体験ブース講師	令和元年8月10日（土） 会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、体験ブース「けんびきょうでマイクロワールドをのぞいてみよう！！」の講師を務めた。
	海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	令和元年11月16日（土） 会場：郡山女子大学 日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催で本学で開催した親子料理教室の運営に参加した。
佐 藤 美 鈴	家族会総会役員食事会	平成31年5月18日（土） 会場：郡山女子大学 家族会総会終了後、新旧役員食事会のウェイトレスや厨房作業の補助を行った。
	ネクストホープ研修	令和元年7月13日（土） 会場：郡山女子大学 医療福祉系の学校で学ぶ学生が多職種の役割を理解し自分の職種の果たす役割を考えることを目的とした研修を実施した。 当日は授業等の補助を行った。
	古殿町料理教室	令和元年7月24日（水） 会場：古殿町公民館 古殿町の高齢者を対象に料理教室を行った。 事前準備として資料作成、当日は調理の補助を行った。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	KIRIN 桃のスイーツの開発	令和元年8月3日（土）4日（日） 会場：フェスタ日和田 KIRIN様の依頼より、お弁当サークルの学生が桃を使用したスイーツの考案をし、フェスタにて試食を行った。 提供メニューは桃パイ、桃のお麩ラスク、桃のわらび餅ドリンクの3種。 事前準備としてスイーツの作成を行った。 当日はお弁当サークルのメンバー11名が参加した。
	わくわくこども大学	令和元年8月10日（土） 会場：郡山女子大学 夏休みの子供たちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。 当日は運営補助を行った。
	一日実技研修会	令和元年8月8日（木） 会場：郡山女子大学 幼稚園教諭を対象に料理教室を行った。 事前準備として資料作成、当日は調理補助を行った。
	葛尾村盆踊り	令和元年8月14日（水） 会場：葛尾村あぜりあ 凍みもちを使用したお菓子等を提供。 提供メニューは凍みパイナップルパイ、凍みピーチパイ、凍みせんべい、凍み春巻き揚げ、しみ団子入り豆乳甘酒の5種。
	さくらレター	令和元年9月20日（金） 会場：郡山女子大学 JA福島さくら発行のさくらレター掲載のためのおにぎり作成。 当日は調理補助を担当した。全15種のおにぎりを作成。
	こおりやまスイーツ街道	令和元年10月6日（日） 会場：郡山市うすい通り 事前準備としてスイーツの作成、当日はお弁当サークルの学生6名を引率し販売を行った。 提供メニューは凍みパイナップルパイ、小豆と抹茶のパウンドケーキ、パート・ド・フリュイ、スノーボールクッキーの4種。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	葛尾村料理教室	令和元年10月15日（火） 会場：葛尾中学校 葛尾中学校の全生徒を対象におやつ作りを実施した。 当日は健康栄養学科1年生3名もボランティアに参加し、調理補助を行った。
	葛尾村感謝祭	令和元年11月3日（日） 事前準備としてお菓子の作成を行った。 提供メニューはうぐいすもち、凍みせんべいの2種。
三 瓶 令 子	全国大学音楽教育学会	全国副理事長として学会運営と諸議題についての検討 及び本年度は札幌大会に参加。「これからの社会に育ちゆくこどもたち」のテーマでラウンドテーブルに於いて協議を行った。
	全国大学音楽教育学会・東北地区学会	東北地区顧問として東北支部の運営と、全国学会からの諸問題についての検討と補佐。及び本年度は東北地区学会郡山大会を本学で開催。 「音・声・音楽の感性の育ちから音楽表現へ」のテーマで企画、運営に携わった。
	社団法人全国保育士養成協議会東北ブロック	東北ブロック監事として東北ブロックの運営と、監事監査
	社団法人全国保育士養成協議会保育士試験実技試験	国家試験資格としての保育士試験において、実技試験（ピアノ）採点委員（2019,630 12,8）
	郡山市地方社会福祉審議会	児童福祉専門分科会会長 同審議会における審議・進行。（年に数回開催）
	郡山市子ども・子育て会議委員会	同会議委員として会議に出席し、「ひとり親家庭の支援のあり方」について審議した。（年に数回開催）
	教員免許状更新講習（サマーリフレッシュ）講師	令和元年7月31日（水） 会場：郡山女子大学 「音楽で育つ子どもの世界」のテーマで、講師を務めた。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福島県保育人材対策連絡会	福島県対策委員。福島県こども未来局子育て支援課が立ち上げた同連絡会の委員として、対策委員会への出席（2回）、及び「福島県保育士養成校進学ガイドブック」の制作協力
	会津若松両沼地区幼稚園研修会	令和元年7月24日（水） 午後1時30分～3時半 会場：湯川村公民館 「幼児の音楽とあそび」のテーマで、現職教員研修会の講師を務めた。
富士盛 公 年	放送大学面接授業	福島学習センターにおいて「教育相談」の面接授業を担当した。 令和元年12月21日、22日
	平成30年度サマーリフレッシュプログラム（教員免許更新講習）	「保育における教育相談」「教育相談」を担当した。
一 柳 智 子	わくわく子ども大学講師	令和1年8月10日（土）会場：郡山女子大学 夏休み子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、体験ブース「頭脳型運動ゲーム『ザ・ケ・イ・ド・ロ』」の講師を務めた。
	民族藝術学会 理事	民族藝術学会東京事務所の年3回の理事会に出席し、定例研究会の企画運営を行った。さらに投稿論文の査読委員を務めた。 今年度は、学会誌がリニューアルされることに伴う審議及び企画会議が度々行われ、平成31年4月21日、令和2年1月12日、令和2年2月8日の企画会議及び審議会に出席した。
	比較舞踊学会 理事	比較舞踊学会誌『比較舞踊研究』の編集委員及び投稿論文の査読委員を務めた。
	白河市文化財保護審議会委員	白河市の文化財保護に関わる事業の審議に関わる活動を行った。審議は諮問会議と答申会議の2度行われた。審議内容は白河市内の有形文化財、無形文化財の両文化財の視察及び審議を行った。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市教育委員会事務点検評価委員会委員	郡山市教育委員会の基本施策に基づき所掌する事業の執行状況について、報告を受け、さらに報告内容の点検及び評価をした。
小 林 徹	(委員等) 郡山市教育支援委員会委員	郡山市立小・中学校に就学・在学する心身に障がいをもつ児童生徒の教育的措置や適正な就学について検討した。
	三春町子ども・子育て支援会議委員（会長）	「三春町子ども・子育て支援事業計画」を策定する会議で学識経験者として会長を務めた。
	福島県立郡山養護学校・福島県総合療育センター肢 体不自由児後援会理事 (研修会講師等)	肢体不自由児の教育や活動を支援するために組織された会に理事として参加した。
	令和元年度 福島県私立幼稚園・認定子ども園連合 会新任教員研修会	令和元年7月25日（木）会場：清稜山倶楽部 講演「幼児期におけるインクルーシブ教育の考え方」
	令和元年度KGCサマーリフレッシュプログラム	令和元年7月27日（土）28日（日）会場：郡山女子大学 講演「生活・教育上の特別なニーズをもつ子どもの理解と支援」ほか
	令和元年度 大島管区特別支援教育担当教員研修 講師	令和元年8月29日（木） 会場：世田谷区立玉川小学校 講義「新学習指導要領を踏まえた教育課程と授業づくり」
	第36回（令和元年度）芳山教育研究発表会	令和2年1月24日（金） 会場：郡山市立芳山小学校 知的障がい学級および情緒障がい学級における研究授業の指導助言
早 川 仁	令和元年度サマーリフレッシュプログラム（教員免 許更新講習）	「創作イメージと描画表現力を育む」講師 令和元年7月31日（水）
	県南美術協会	事務局総務部。福島県県南地区の美術振興活動・県南美術展開催。
	本宮市民元いきいき応援プラザ（地域貢献活動支 援事業）	子育て支援事業「いっしょに遊ぼう」通称「えぼか」の計画・実施*今 年度は台風により実施中止

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
草 野 葉 子	アカデミア・コンソーシアムふくしま 事業推進委員	福島県内の大学・短大等26機関による「大学間連携共同教育推進事業」に関する事業の推進。
	郡山市私立幼稚園・認定子ども園連合会研修会	令和元年度郡山市私立幼稚園・認定子ども園連合会教員の第2回研修会における、「木工製作」研修の講師を務めた。
	第4回わくわく子ども大学 体験ブース講師	令和元年8月10日（土）会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催。当日は、体験ブース「青空に絵を描こう！」の講師を務めた。
折 笠 国 康	福島県保育協議会	福島県保育研究大会 講師 職場環境が子供を育て、職員を育てる 令和元年5月25日 郡山ユラックス熱海
	公益社団法人福島県私立幼稚園・認定こども園連合会	令和元年度免許状更新講習 講師 少子化の中の家庭支援・地域連携 令和元年7月24日 清稜山倶楽部
	平成31年度サマーリフレッシュプログラム（教員免許更新講習）	「教員としての子ども観、教育観等についての省察」 講師 令和元年7月27日 郡山女子大学
	平成31年度サマーリフレッシュプログラム（教員免許更新講習）	選択必修領域Ⅰ 教育相談 <i>Q-U</i> を用いた学級アセスメント ～自尊感情を育てるアプローチ～ 講師 令和元年7月28日 郡山女子大学
	平成31年度わくわくこども大学	保護者向け講演会 講師 子どもの自尊感情の育成 令和元年8月10日 郡山女子大学小ホール
	福島県保育協議会県北支部	令和元年度福島県保育協議会件北支部施設長部会研修会 講師 子どもを育て職員を育てる職場環境づくり 令和元年8月23日 福島市吉井田支所大会議室

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福島県保育協議会	令和元年度福島県保育協議会研修会 講師 保育者と子どもが育つ職場づくり 令和元年8月29日 会津大学講義棟中講義室
	福島県保育協議会いわき支部	令和元年度福島県保育協議会いわき支部保育士部会研修会 講師 保育の質について 令和2年1月25日 いわき市総合保育福祉センター
永 瀬 悦 子	福島県子ども未来局 放課後児童支援員認定資格研修会	福島県放課後児童支援員認定資格研修会において講師を務めた。 令和元年12月20日 場所：郡山市労働福祉会館 テーマ「子どもの生活面における対応」
	福島県私立幼稚園・認定こども園連合会 令和元年度教員研修会	令和元年度教員研修会の講師を務めた。 令和元年12月25日 場所：ザ・セレクトン福島 テーマ「発達について」
	矢吹町教育委員会	矢吹町子ども・子育て会議の委員（副会長）を務めた。
	三春町子育て支援課 思春期保健講座	子どもの豊かなこころの育成を目的とした思春期保健講座の講師を務めた。小学校5校（三春小学校、御木沢小学校、中妻小学校、沢石小学校、岩江小学校）にて実施した。
	平成31年度教員免許更新講習	平成31年度教員免許更新講習において講師を務めた。 令和元年7月29日 場所：郡山女子大学 テーマ「安全管理と応急処置」
	わくわく子ども大学	夏休みの子どもの教育支援と地域貢献を目的とした企画に運営スタッフとして協力した。 令和元年8月10日（土） 場所：郡山女子大学

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
伊 藤 哲 章	わくわく子ども大学実行委員会（運営委員長）及び 体験ブース講師	令和1年8月10日（土）会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。実行 委員会では、運営委員長として企画運営にあたった。また、当日は体験 ブース「たのしいりかじっけん」の講師を務めた。
ポール・バーナミイ Paul Vonnahme	国際交流特別講座 Japan Association for Language Teaching (JALT) 日本タッチ&フラッグフットボール協会 (JTFA)	English Lecturer : This is an adult education English class with two levels of students. Each class is 90 minutes with 15 total meetings for 22.5 hours in each full session. Students may prepare English topics or interact with teacher based topics. Conversation is the focus while allowing students to speak with other class members and a native speaker. JALT Member : JALT takes pride in its international composition and in the worldwide forum it provides to exchange ideas and techniques in language education. Coaching & Leadership : This a college sport that allows for games to be played with former college students. One of the most popular events of the year is played in Yokohama Bay Star Stadium. This is a national event with players throughout Japan participating in and beyond their college years.
柴 田 卓	小野町 保育活動（自然保育）に係る講師 国見町 未就学児体力向上支援事業 講師 福島県 子どもと青年の異世代交流事業 講師	「おのまちわかばたんけんたい」の実施および評価（年7回） 体力向上プログラムの実施および評価（年7回） 福島県内の保育・幼児教育分野の学生に対し、自然遊びのフィールド ワークおよびワークショップを実施（3回）し、4回目に親子イベント 「チャレンジ親子たんけん隊」を実施した。令和元年11月17日（日） 会場：県民の森フォレストパークあだたら

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市私立幼稚園協会 研修会 講師	「運動遊び」 令和元年5月29日（水）、11月6日（水）
	国立那須甲子青少年自然の家 自然保育関連事業 講師	「なすかしの森 のびのびキッズ」 令和元年8月24日（土）～8月25日（日）、 令和元年11月9日（土）、令和2年2月15日（土）
	令和元年度サマリーフレッシュプログラム（教員免許更新講習）講師	「子どもの生活の変化を踏まえた課題と世界の教育の動向」 令和元年7月27日（土） 会場：郡山女子大学
	わくわく子ども大学実行委員会（副運営委員長）及び体験ブース 講師	夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。実行委員会では、副運営委員長として企画運営に携わり、体験ブース頭脳型運動ゲーム「ザ・ケイドロ」の講師を務めた。令和元年8月10日（土） 会場：郡山女子大学
	福島大学 教員免許更新講習 講師	「自然の魅力を活かした保育技術」 令和元年10月20日（日） 会場：福島大学
猪 股 照 子	わくわく子ども大学 運営スタッフ	令和元年8月10日（土） 会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、運営スタッフを務めた。
安 部 高太郎	岩瀬地区幼稚園・こども園教育研究会 第2回園長会	令和元年12月4日（水） 会場：須賀川市産業会館 「幼小接続のためのカリキュラムづくり」と題して講演した。
仲 西 真美子	わくわく子ども大学 運営スタッフ	令和元年8月10日（土）会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、運営スタッフを務めた。
沼 田 春 香	わくわく子ども大学 運営スタッフ	令和元年8月10日（土）会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、運営スタッフを務めた。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
宗 像 佑 華	わくわく子ども大学 運営スタッフ	令和元年8月10日（土）会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、運営スタッフを務めた。
磯 部 哲 夫	会津演奏家連盟	副代表 演奏研究 各種コンサート、音楽鑑賞教室の企画、運営を行った。
	全日本音楽教育研究会	会員 音楽教育研究 「これからの音楽教育をデザインする」について協議を行った。
	全国大学音楽教育学会	会員 幼児音楽研究 「音・声・音楽の感性の育ちから音楽表現へ」について協議を行った。
	福島県声楽協会	会員 會津風雅堂において第35回福島県声楽協会演奏会を開催した。
	高声会	会員 歌唱研究
	郡山女声合唱団	ヴォイストレーナー 声種別によるヴォイストレーニングを行った。
	第2回わくわく子ども大学 in 郡山女子大学	運営スタッフ 「オリジナル楽器をつくろう」の報告書を作成した。
	第3回会津演奏家連盟「音楽の森コンサート」	副代表としてコンサートの企画、運営を行った。
	小学校における合唱指導	講師 喜多方市立塩川小学校において合唱部のヴォイストレーニング、合唱指導を行った。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	小学校における合唱指導	講師 郡山市立開成小学校において合唱部のヴォイストレーニング、合唱指導を行った。
	中学校における合唱指導	講師 郡山市立大槻中学校において合唱部のヴォイストレーニング、合唱指導を行った。
横 溝 聡 子	郡山市立公民館運営審議委員会	委員長 委員会運営及び郡山市立公民館運営の諮問事項に関する協議を行って答申をまとめ、郡山市教育委員会教育長に報告を行った。
	第2回福島県コーラスワークショップ	講師 令和元年5月25日（土）会場：郡山女子大学建学記念講堂 福島県合唱連盟主催福島県コーラスワークショップにおいて講師を務めた。
	第29回東北青少年音楽コンクール仙台地区リトルコース予選会	審査委員 令和元年6月15日（日）会場：仙台市太白区文化センター（楽楽楽ホール） 仙台地区リトルコース予選会において審査委員を務めた。
	わくわく子ども大学	体験ブース講師 令和元年8月10日（土）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は体験ブース「オリジナル楽器を作ろう」の講師を務めた。
深 谷 悠里絵	わくわく子ども大学	体験ブース運営スタッフ 2019年8月10日（土） 会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。 体験ブース「オリジナル楽器を作ろう」の運営スタッフとして活動した。
浅 野 章	福島県美術家連盟	会員 福島県の美術普及活動

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	国画会	絵画部会員 出品作品の審査・講評、及び運営業務
	国画会絵画部チャリティー事業	出品協力 東京六本木国立新美術館に於いて第93回・国展絵画部でのチャリティー展に出品。小品を展示販売し、売上金全額をNHK厚生文化事業団に寄付した。
	国画会トークイン	講師（トーク作家） 国立新美術館来場美術ファンに、国展企画として自作についてのギャラリートークをおこなった。
	福島民報特別通信員	特別通信員（ふるさと記者） 美術関係の話題を中心として福島民報新聞社に情報を提供する。
	福島県総合美術展	招待作家および講師 作品審査主任。出品者研修会講師
	わくわく子ども大学	講師（なんでもフロッタージュ） 郡山女子大学短期大学部に於いて、夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的に実施した。
	郡山市総合美術展	招待作家 作品審査主任
	Moa美術館郡山児童作品展	出品作品審査員 郡山市内の小学生を対象としたコンクール出品作の審査および講評。
齊 藤 弘 久	福島県水彩画会	監事・版画部会員 運営業務、審査
	埼玉県版画家協会	理事・会員 運営業務、事務局

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
桑 野 聡	郡山市子ども読書活動推進委員会 福島放送番組審議会 「こおりやま広域圏 わかものボードレスプロジェクト 2019」アドバイザー	2019年7月より座長・委員として郡山市の「第4次子どもの読書推進計画」の策定と審議を行った。 委員長・審議委員として福島放送（KFB）自社制作番組を合評し、番組の質的向上を支援している。 誕生間もない「こおりやま広域圏」の活発な活動を支援するために域内の高校生を集めて郡山市政策開発部政策開発課が中心となって実施したワークショップ三日間（8月7日（水）～9日（金））のアドバイザーとして参加した。
會 田 容 弘	和台遺跡調査指導委員	福島市国指定史跡和台遺跡の史跡指定範囲を確定するために実施する発掘調査を学術的見地から指導を行う。
知 野 愛	（一社）日本家政学会生活経営学部会・北海道東北地区委員 （一社）日本家政学会東北・北海道支部第63回研究発表会・総会実行委員 株式会社テレビユー福島番組審議会 こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議	地区委員・日本家政学会生活経営学部会役員会に出席し、役員引継ぎを行った。 大会実行委員長・総会並びに研究発表会の運営全般に関わった。 審議委員・番組の質の向上を目的として課題番組の合評に参加し、専門領域の立場から発言した。 会員・郡山市における女性活躍推進のため市内の様々な企業代表者から事例発表や講話を聴講し討議に参加した。
小 松 太 志	葛尾村ふるさと納税返礼品用米袋のパッケージデザイン制作支援 棚倉町ブランド認証審査委員会	葛尾村では水稻農家の耕作支援、耕作意欲向上を目的として、「葛尾村産ひとめぼれ」をふるさと納税返礼品とすることになった。その米袋のパッケージデザインを学生が提案・制作することを支援した。 委員 棚倉町におけるブランド品の審査・認証を担当した。
山 口 猛	福島県教育委員会 福島県生徒指導アドバイザー	情報モラルの観点から、いじめ問題等の生徒指導上の諸問題の研修会等への支援を行った。7／18岩瀬農業高等学校講話を担当

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	わくわく子ども大学	夏休み子どもたちの教育支援と地域貢献を目的とし、執行部委員を務めた。8/10郡山女子大学開催に向けた参加申込集計を担当
黒 沼 令	古殿町役場産業振興課 チェンソーアート文化祭実行委員会 第71回郡山市民文化祭実行委員会 岩手県高等学校文化連盟 脈・FUKUSHIMA2019展実行委員会	地域創成学科・プロジェクト演習の取り組みとして、古殿町チェンソーアート文化祭の木育体験の準備・実施に学生と参加協力した。 第63回郡山市総合美術展覧会・彫刻・工芸の部の審査員として、一般出品作品の審査を行った。 楯（連盟賞、テーマ賞、ポスター賞）、トロフィ（功労賞、連盟賞）の原型制作を行った。 脈・FUKUSHIMA2019展実行委員会委員として、展覧会の準備・運営を行った。
佐 藤 愛 未	わくわく子ども大学in郡山女子短大 運営スタッフ こおりやま広域圏わかものボードレスプロジェクト 2019 アドバイザー	2019年8月10日（土） 会場：郡山女子大学 夏休み子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、運営スタッフを務めた。 2019年8月7～9日に開かれた、郡山市主催同プロジェクトのワークショップにアドバイザーとして参加した。
和 知 剛	郡山市図書館協議会	図書館協議会委員。
米 本 順 子	県南美術協会 Moa美術館郡山児童作品展 学校支援事業「野小っ子クラブ」 葛尾村盆踊り	福島県県南地区の美術振興活動 出品作品の審査 8月8日、9日に野木沢小学校生徒を対象とした絵画指導（夏休みの課題制作指導） 葛尾村盆踊りにおけるワークショップの開催、灯明アートプロジェクトの実施

